



11型ワイドVGA LED液晶 ディスプレイオーディオ DAF11V

9型ワイドVGA LED液晶 ディスプレイオーディオ DAF9V / DAF9



androidauto™



- ・取扱説明書
本製品をお使いの前によくお読みください。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

アルパイン マーケティング株式会社

●インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL: 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(携帯電話・PHS: 20秒10円)

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。TEL: 03-6704-4926

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

<LINEでのお問い合わせ>

「友だち追加」から友だち追加できます。
※LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。



●電話受付時間

(土曜・日曜・祝日・弊社休業日を除く)
月曜～金曜日 9:30～17:30

<FAXでのお問い合わせ>

FAX: 045-522-8700

- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>

もくじ

取扱説明書

警告

安全のために必ずお読みください.....	5
警告.....	5
注意.....	6
お知らせ.....	6

お使いになる前に

操作部.....	8
電源の ON/OFF.....	8
初期システム起動.....	8
音量を調整する.....	8
素早く音量を下げる.....	9
タッチスイッチの操作.....	9
ソースを切り換える.....	9
リストの項目を選択する.....	9
ホーム画面について.....	10
ホーム画面編集.....	10
インジケータ表示について.....	10

設定

設定操作.....	11
-----------	----

一般設定

ラジオ設定.....	11
チューナー (FM) の音質 (チューナー状態) を設定する.....	11
言語設定.....	12
壁紙設定.....	12
初期画像を使って壁紙を設定する.....	12
ご自身の画像を使って壁紙を設定する.....	12
画面 / LED カスタマイズ設定.....	12
バックライトの明るさを設定する (調光).....	12
バックライトの最小レベルを調整する.....	12
夜間のボタン照明を調整する.....	13
時計設定.....	13
ディスプレイオフ設定.....	13
DAF11V/DAF9V/DAF9 について.....	13

製品情報を表示する.....	13
保証書 / 著作権情報を表示する.....	13
システムを初期化する.....	13
接続確認.....	14
リアシートエンターテインメント (RSE) 設定 (DAF11V/DAF9V のみ).....	14
HDMI 出力設定.....	14
出力フォーマット設定.....	14

接続 (Bluetooth) 設定

Bluetooth 情報を表示する.....	14
Bluetooth 機器とペアリングをおこなう.....	14
Bluetooth 機器を設定する.....	15
Bluetooth 機器をリストから削除する.....	15
自動応答設定.....	15
Apple CarPlay 設定.....	15

カメラ設定

カメラ入力設定.....	15
カメラ信号入力設定.....	15
バックカメラガイド設定.....	16
バックカメラのガイドを On/Off する.....	16
コーションの位置を調整する.....	16
カメラ画質の設定.....	16
カメラ割り込み設定 (ディスプレイ OFF モード).....	16
ミュート設定.....	16

サウンド設定

Media Xpander (MX) を 設定する.....	17
イコライザー設定.....	17
フェーダー / バランス / 低音 / 高音 / サブウーファー設定.....	17
フェーダー / バランスを設定する.....	17
低音 / 高音を調整する.....	18
サブウーファーを設定する.....	18
グラフィックイコライザー設定 (グラフィック EQ).....	18
タイムコレクション設定.....	18
クロスオーバー設定 (X-Over).....	19
音量設定.....	19
キー音を調整する.....	19

ソースの音量を調整する.....	19
Android Auto の音量を設定する.....	19
Apple CarPlay の音量を設定する.....	20
電話の音量を調整する.....	20
サブウーファーを ON/OFF する.....	20
リヤスピーカーの設定.....	20
デフイート設定.....	20
クロスオーバーについて.....	20
タイムコレクションについて.....	21

Apple CarPlay をつないで使う

Apple CarPlay にアクセスする.....	22
----------------------------	----

Android Auto をつないで使う

Android Auto とは.....	22
Android Auto を有効にする.....	22

ラジオ

ラジオの基本操作

ラジオを聞く.....	23
放送局を手動でプリセットする.....	23
放送局を自動でプリセットする.....	23
プリセット局に合わせる.....	23

USB メモリー (オプション)

USB オーディオ

再生.....	24
早送り / 早戻し.....	24
リピート再生.....	24
シャッフル再生.....	25
希望の曲をサーチする.....	25

USB ビデオ

明るさとコントラストを設定する.....	25
サブタイトルを表示する.....	25

USB フォト

再生.....	26
スライドショー.....	26
フォト付き壁紙を設定する.....	26

iPhone の iPod モード (オプション)

再生.....	27
音楽ファイルをサーチする.....	28
リピート再生.....	28

シャッフル再生.....	28
--------------	----

HDMI (DAF11V/DAF9V のみ)

HDMI 操作.....	29
明るさとコントラストを設定する.....	29

外部機器 (AUX) (DAF11V/DAF9V のみ)

外部機器操作.....	29
明るさとコントラストを設定する.....	29

Bluetooth 操作

使用前の設定.....	30
Bluetooth について.....	30
ハンズフリー電話について.....	30
Bluetooth を使用する前に.....	30

ハンズフリー電話の制御

電話を受ける.....	31
電話を切る.....	31
電話をかける.....	31
電話メニューを使って電話をかける.....	31
音声認識機能を使う.....	32
Siri を使う.....	32
音声ダイヤル機能.....	32
電話操作画面.....	33
会話音量を調整する.....	33
音声出力を変更する.....	33
マイクをミュートする.....	33
DTMF (タッチトーン) 機能.....	33
電話帳機能.....	33
電話帳と同期させる.....	33
電話帳の登録を削除する.....	34
連絡先をお気に入りに入りに設定する (ショートカットダイヤル).....	34

Bluetooth オーディオ

再生.....	35
リピート再生.....	35
シャッフル再生.....	35
Bluetooth 機器を接続する.....	35
Bluetooth の接続を切る.....	35
接続する Bluetooth 機器を 切り換える.....	35

カメラの操作（オプション）

カメラの操作.....	36
ホーム画面からカメラの映像を 表示する.....	36
車のシフトをリバースに入れている間、 リヤビュー映像を表示する.....	36
バックカメラガイドについて.....	36

情報

製品のソフトウェアについて.....	38
対応フォーマットについて	38
MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV について.....	38
トラブルシューティング	40
こんなメッセージが表示されたら.....	41
仕様	42

取扱説明書

警告

安全のために必ずお読みください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。本製品を安全に正しくお使いいただくための指示を記載しております。本取扱説明書の指示に従わなかった場合に生ずる問題について、当社は責任を負いかねます。
- 本製品を安全にお使いいただくため、また不適切な接続や操作により生じる潜在的な危険性を警告するため、本取扱説明書では様々な絵表示を用いています。これらの絵表示の意味は以下の通りです。本取扱説明書とシステムを正しくお使いいただくために、これらの絵表示の意味を十分に理解することが重要です。

警告

- 運転中の本機の操作は危険です。車両を停止してから操作してください。
- 地図に含まれる情報より道路状況や法規が優先されます。運転中は、実際の交通規制を遵守し状況に従ってください。
- 本ソフトウェアは、本機での使用専用で設計されています。他のハードウェアとあわせて使用することはできません。また使用してはなりません。

警告

本記号は重要な指示を示しています。遵守しない場合は、重傷または死に至る場合があります。

車両が停止しているかパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがテレビやビデオを見ることができないように、製品を正しく設置してください。

車両を運転中にドライバーがテレビやビデオを見るのは危険です。製品を誤って取り付けると、運転中のドライバーがテレビやビデオを見ることが可能になります。これにより、ドライバーが前方を見て運転に集中できなくなるなどの注意散漫を引き起こし、事故につながるおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

運転中はビデオを見ないでください。

ビデオを見ることでドライバーの気が散り、車両の前方への注意力がそがれ、事故につながるおそれがあります。

車両の安全走行から注意をそらすおそれがあるため、いかなる機能の操作もしないでください。

ドライバーの集中力が長い間要求される機能の操作は、車両が完全に止まってからおこなってください。常に車両を安全な場所に停止させた後、これらの機能を操作してください。事故につながるおそれがあります。

音量は、運転中に外部の音が聞こえるレベルを保ってください。

緊急時の車両のサイレンや道路上での警報（電車の遮断器の合図など）が聞こえにくくなるほどの過度の音量は、危険をもたらす事故につながるおそれがあります。車内で大音量で聞く場合、聴覚に損傷を与えるおそれもあります。

運転中、表示部は最小にしてください。

表示部を見ることでドライバーの気が散り、車両の前方への注意力がそがれ、事故につながるおそれがあります。

分解や変更はしないでください。

事故や火災、感電に至るおそれがあります。

DC 12V マイナスアース車でのみご使用ください。

（定かでない場合は、販売店にご確認ください。）火災などに至るおそれがあります。

ネジなどの小物は子供の手の届かないところに保管してください。

飲み込んで重傷に至るおそれがあります。飲み込んだ場合は、ただちに医者診察を受けてください。

ヒューズを交換する際は、正しいアンペア数で使用してください。

火災や感電に至るおそれがあります。

通気口やラジエーターのパネルをふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。

本製品はモバイル 12V 用途に使用してください。

設計された用途以外での使用は、火災や感電、その他の傷害の原因になります。

正しく接続してください。

誤った接続は、火災や製品の損傷の原因になります。

配線の前に、バッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。

感電や、電氣的短絡によるけがの原因になります。

ケーブルが周辺のものに絡まないようにしてください。

運転中の邪魔にならないように、取扱説明書にしたがってケーブルなどの配線をおこなってください。ケーブルやワイヤーがハンドルやギヤシフトレバー、ブレーキペダルなどの上を遮ったり、またそれらの上に掛かったりすると、非常に危険です。

電気ケーブルをつなぎ合わせないでください。

他の機器に電力を供給するために、ケーブル絶縁物を切断することは絶対にしないでください。配線の電流容量を超えることにより、感電に至るおそれがあります。

穴を開けるときは、導管や配線を損傷しないようにしてください。

設置のためにシャーンに穴を開ける際は、導管や燃料経路、タンク、電気配線などに接触したり、それらを損傷したり妨害したりすることのないよう注意してください。火災に至るおそれがあります。

ブレーキやステアリングシステムのボルトやナットを使ってアース接続をしないでください。

ブレーキやステアリングシステム（その他の安全関連システムすべて）、タンクに使用しているボルトやナットは、設置やアース接続の際には絶対に使用しないでください。車両の制御ができなくなり、火災などの原因になります。

ハンドルやギヤシフトレバーなど、車両の操縦を妨げかねない場所に設置しないでください。

前方の視界を遮ったり、動作などの邪魔になり、重傷に至るおそれがあります。



注意

本記号は重要な指示を示しています。遵守しない場合は、けがや物的損害を引き起こすおそれがあります。

問題が見受けられる場合は、ただちに使用を中止してください。

人身傷害や製品の損傷の原因になります。正規のアルパイン販売店またはお近くのアルパインサービスセンターに修理を依頼してください。

配線と設置は専門の技術者に依頼してください。

本機の配線と設置には、特殊な技術的熟練と経験を要します。安全を確保するために、製品を購入した販売店に必ず連絡をとり、作業を完了してもらってください。

指定されたアクセサリ部品を使用し、しっかりと取り付けてください。

必ず指定のアクセサリ部品のみを使用してください。指定外の部品を使用すると、本機の内部が損傷したり、所定の位置に確実に設置できない可能性があります。これにより部品にゆるみが生じ、危険な状況や製品の故障に至るおそれがあります。

鋭利な金属の端面で配線が押し付けられたり、挟まれたりしないように配線してください。

ケーブルなどの配線は、可動部分（座席のレールなど）や鋭利な先端から離しておこなってください。こうすることで、配線が押し付けられることによる損傷を受けなくて済みます。配線を金属の穴に通す場合は、金属穴の端面で配線の絶縁物が切断されないように、ゴム製のグロメットを使用してください。

水分や埃の多い場所には設置しないでください。

水分や埃の発生頻度が高い場所に、本機を設置しないでください。本機に水分や埃が入ると、故障の原因になります。



お知らせ

製品のお手入れ

製品の定期的な清掃には、柔かい乾いた布をお使いください。頑固な汚れには、水のみを浸した布をお使いください。それ以外のものを使うと、ペイントが溶けたりプラスチックが損傷する原因になります。

温度

本機の電源を入れる前に、車内の温度が +45° C (+113° F) ~ 0° C (+32° F) の範囲内であることを、必ず確認してください。

保守

問題がある場合、ご自身で本機を修理することはおやめください。アルパイン販売店またはお近くのアルパインサービスセンターに修理を依頼してください。

USB コネクタの保護

- iPhone または USB メモリーのみ本機の USB コネクタに接続することができます。その他の USB 製品を使った場合、正しい性能は保証できません。
- USB コネクタを使う場合は、必ず本機に付属のコネクタケーブルのみを使用してください。USB ハブには対応していません。
- 接続する USB メモリーによっては、本機が動作しなかったり、またはいくつかの機能が実行されない場合があります。
- 本機で再生できるオーディオファイル形式は、MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV です。
- アーティスト名や曲名などを表示できます。特殊文字によっては正しく表示できない場合があります。



注意

データなどの紛失については、本製品を使用中にデータなどを紛失した場合であっても、当社は一切の責任を負いません。

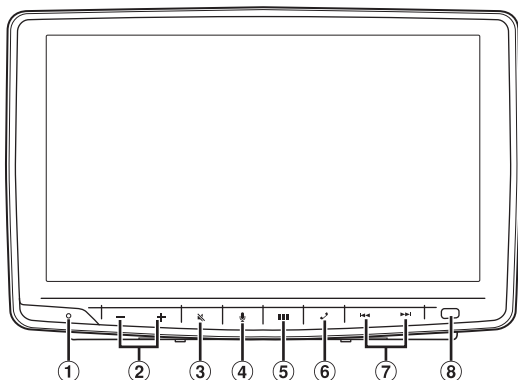
USB メモリーの取り扱いについて

- 本機は、USB マスストレージクラス (MSC) プロトコルに対応するメモリー記憶装置を制御することができます。再生可能なオーディオ形式は、MP3、WMA、AAC、FLAC および WAV です。
- USB メモリーの機能は保証しておりません。契約条件に順する USB メモリーをお使いください。USB メモリーの取扱説明書をよくお読みください。
- 以下の場所での使用や保管は避けてください。
車内で直射日光の当たる場所や高温になる場所
湿度が高くなる可能性がある場所や腐食性物質のある場所
- ドライバーの運転の妨げにならないところに USB メモリーを固定してください。
- USB メモリーは、温度が高いまたは低いところでは正しく機能しない場合があります。
- 保証済みの USB メモリーのみをお使いください。保証済みの USB メモリーであっても、種類や状態によっては正しく機能しない場合があります。
- USB メモリーの種類、記憶状態、符号化ソフトウェアの設定によっては、本機が正しく再生または表示しない場合があります。
- USB メモリーは、再生開始に時間がかかる場合があります。USB メモリー内にオーディオ以外の特殊なファイルがある場合は、ファイルの再生や検索までにかなりの時間がかかる場合があります。
- 本機は、「mp3」、「wma」または「m4a」の拡張子のファイルを再生することができます。
- オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子を付与しないでください。非オーディオデータは認識されません。再生されたものには、スピーカーやアンプに損傷を与えるようなノイズが含まれている場合があります。
- 重要なデータはパソコンにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 再生が進行している間は、USB メモリーを取り外さないでください。メモリーの損傷を予防するために、USB 以外のソースに設定を変えた後で、USB メモリーを取り外してください。

- Windows Media および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、iPhone および Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。Apple CarPlay は Apple Inc. の商標です。
- Made for Apple および Works with Apple バッジの使用は、アクセサリが、Made for Apple バッジで識別される Apple 社製品専用に接続されるよう設計されており、Works with Apple で識別される技術と特に機能するように設計されていることを意味し、Apple 社の性能基準を満たすことが、開発者によって保証されていることを意味します。Apple 社は、本装置の動作や安全および規制基準の遵守について責任を負いません。
- Apple 社製品と本アクセサリの使用により、無線性能に影響を与える場合があります。
- Apple CarPlay ロゴの使用は、車両のユーザーインターフェースが Apple 社の性能基準を満たすことを意味します。Apple 社は、本車両の動作や安全および規制基準の遵守について責任を負いません。iPhone と本製品の使用により、無線性能に影響を与える場合があります。
- Google、Android、Android Auto、Google Play およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ALPS ALPINE CO.,LTD. はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。本製品の供給によって与えられるのは、個人及び非営利使用の目的のためのライセンスのみであり、次の使用目的のためのライセンスを与えるものではなく、また次の使用目的で本製品を使用するいかなる権利をも示唆するものではありません：(収益を発生させる) コマーシャル、リアルタイム放送（地上波、衛星放送、ケーブルおよび / またはその他の媒体）、インターネット、イントラネット、および / またはその他のネットワークもしくはその他有料オーディオやオーディオオンデマンドソフトウェアのような電子コンテンツ配布システム経由の放送 / ストリーミング。その目的の使用については独立したライセンスが必要です。詳細は、以下をご参照ください。
<http://www.mp3licensing.com>

お使いになる前に

操作部



- ① リセットスイッチ
システムをリセットします。
- ② - / + (下 / 上) ボタン
音量を調整します。
- ③  (ミュート) ボタン
ミュートモードを ON/OFF にします。
- ④  ボタン
Siri 機能または音声認識モードを ON にします。
- ⑤  (ホーム) ボタン
ホーム画面を表示します。
- ⑥  (電話) ボタン
電話メニュー画面を表示します。
着信したらタッチして通話を開始します。
- ⑦  ボタン
ラジオモードでタッチして放送局を探します。また他の音声 / 映像ソースの曲やチャプターをタッチして探します。
- ⑧ 調光センサ
車内の明るさを感知します。

本取扱説明書で使用するボタン表記について
本機の正面にあるボタンは、太字 (例: **品品** (ホーム)) で示します。タッチ画面で表示されるボタンは、カッコ [] 内で太字 (例: **[OK]**) で示します。

電源の ON/OFF

イグニッションキーを ACC または ON 位置にすると、オープニング画面が自動で表示されます。

- 1 イグニッションキーを ACC または ON の位置にします。
本機の電源が入ります。
 - 初めて本機を使用するときは、ラジオメイン画面が表示されます。
 - 電源を入れたと、イグニッションキーを OFF にする直前に表示していた画面が表示されます。例えば、イグニッションを OFF にしたときに、本機がラジオモードだったのであれば、イグニッションを ON に戻したときも、本機はラジオモードになります。

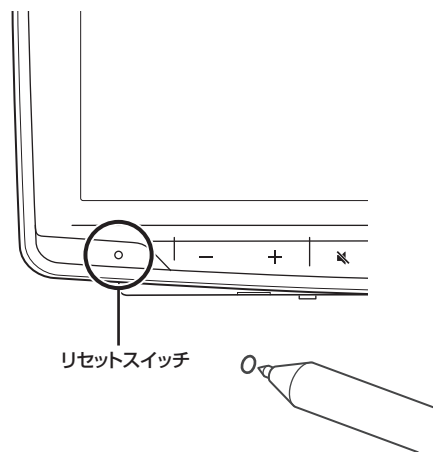
- 2 本機の電源を切るには、イグニッションキーを OFF の位置にします。

- 本機は精密機器です。長くご使用いただくため、丁寧に取り扱ってください。
- 車両が動いているとき、本機の機能のいくつかは実施できません。これらの操作を実施する前に、必ず車両を安全な場所に停止させ、パーキングブレーキをかけてください。

初期システム起動

初めて本機を使うときや、車のバッテリーを交換した後は、必ずリセットスイッチを押してください。

- 1 電源を切ります。
- 2 ボールペンまたは先の尖ったものでリセットスイッチを押します。



音量を調整する

- / + を押して音量を調整します。
 - / + を長押しすると、音量が小さくまたは大きくなります。
- 音量: 0 ~ 35

素早く音量を下げる

音声ミュート機能を使うと、即座に音量をゼロに下げることができます。

1 **⏏ (ミュート)** ボタンをタッチして、ミュートモードを ON にします。
音声レベルがゼロになります。

2 **⏏ (ミュート)** ボタンを再度押すと、直前の音声レベルに戻ります。

タッチスイッチの操作

タッチパネルディスプレイを使って本機を操作することができます。

- ディスプレイを傷つけることのないように、必ず指の腹で軽く画面のボタンをタッチしてください。

タッチ操作

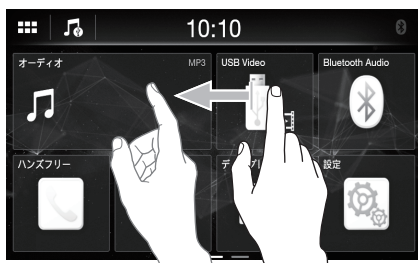
画面のボタンやリストの項目を軽くタッチします。



- ボタンをタッチしても何の反応もない場合は、指を離してください。
- 操作できないボタンは暗く表示されます。

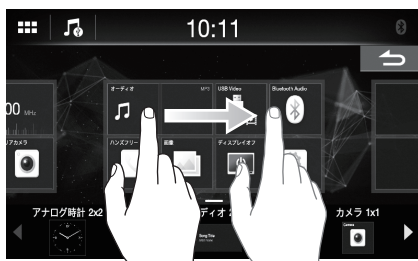
スワイプ操作

指を軽く動かしてスワイプします。



ドラッグ&ドロップ操作

希望の項目を長押しし、指を動かして新しい場所にドラッグします。その後、指を離してその項目を置きます。



- USB フォトモードを除き、ピンチイン / ピンチアウトすることはできません。

ソースを切り換える

1 **⏏ (ホーム)** ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。



2 希望のソースをタッチします。

- ホーム画面では、画面上でウィジェットの場所を変えることができます。詳細は、「ホーム画面について」(10 ページ)をご参照ください。

リストの項目を選択する

リストをスクロールするには、以下の操作をおこなってください。

画面をタッチして指を上下にスライドさせます。
指の動きに合わせて画面がスクロールします。



前の画面に戻ります。機能によっては、このボタンにより、画面上で実施した操作を取り消す場合があります。

- 画面をタッチした後、ドラッグする前に画面から指を離すと、その項目が選択されます。

ホーム画面について

ホーム画面でウィジェットを選択し、様々な設定や機能の操作をおこなえます。

⌘ (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

- 画面上部の【⌘】をタッチしてもホーム画面を表示することができます。

■ ホーム画面の例



- 【オーディオ】ウィジェットを選択した後で、USB オーディオモード、iPhone 用の iPod モードまたは Bluetooth オーディオモードに切り換えることができます。

ホーム画面編集

運転中は、ウィジェット編集画面を操作することはできません。
駐車するときは、必ずイグニッションキーを ACC または ON 位置にしてください。詳細は、「設定操作」(11 ページ) の「設定メニュー画面を表示するには」をご参照ください。

ウィジェット編集画面では、オーディオソースの順番を変更したり、設定を表示 / 非表示にすることができます。

- 1 ホーム画面を 1 秒以上長押しします。
ウィジェット編集画面が表示されます。



- ウィジェット編集画面に表示されるソースアイコンは、各オーディオソースの使用可能な設定や条件が満たされている場合のみ表示されます。各オーディオソースの設定や条件の詳細は、「ソースを切り換える」(9 ページ) をご参照ください。

■ ウィジェットの追加

追加候補ウィジェットのエリアから、ホーム画面イメージエリアの好みの位置に、ドラッグ&ドロップでウィジェットを置きます。

- 候補ウィジェットをさらに表示するには、水平にスワイプします。
- ウィジェットのサイズは 3 つです。

■ ウィジェットの順番変更

ドラッグ&ドロップでウィジェットを好みの場所に移動します。

■ ホーム画面からウィジェットを削除

ドラッグ&ドロップでホーム画面イメージエリアからウィジェットを 血 に移動します。

- ウィジェットをタッチしている間、血 が表示されます。

- 2 ⌘ (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

インジケータ表示について

画面上部のインジケータバーには現在時刻など様々な情報が表示されます。



- ① ホーム画面を呼び出します。
- ② 現在再生中のオーディオソースを表示します。タッチしてオーディオソース画面に戻ります。
- ③ 現在時刻を表示します。
12 時間表示と 24 時間表示を切り換えることができます (13 ページ)。
- ④ Bluetooth 対応機器に接続すると点灯します。(接続を OFF に設定すると表示しません。)

設定

設定操作

- 1 𠂔𠂔𠂔 (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。



【設定】ボタン

- 2 【設定】をタッチします。
設定メニュー画面が表示されます。



- 3 設定メニュー画面の上部にある設定ジャンルをタッチして、次に設定項目をタッチします。

設定ジャンル：

全般設定：「一般設定」（11 ページ）をご参照ください。
接続設定：「接続（Bluetooth）設定」（14 ページ）をご参照ください。
カメラ設定：「カメラ設定」（15 ページ）をご参照ください。
音質 / 音量調整：「サウンド設定」（17 ページ）をご参照ください。

一般設定

設定メニュー画面で【全般設定】を選択します。

■ 一般設定メニュー画面

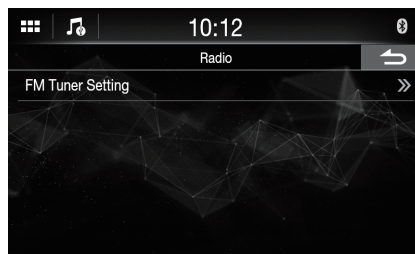


設定項目：

Radio (11 ページ)
言語設定 (12 ページ)
壁紙とテーマ (12 ページ)
画面設定 (12 ページ)
時計 (13 ページ)
画面 OFF (13 ページ)
情報 (13 ページ)
車両情報 (14 ページ)
RSE (14 ページ)
ハンドル位置 (14 ページ)

ラジオ設定

一般設定メニュー画面で【Radio】を選択します。



チューナー (FM) の音質 (チューナー状態) を設定する

本機で FM ラジオソースをお好みの音質に設定することができます。

設定項目：

FM Tuner Setting

設定内容：

Normal (初期設定) / HiFi / Stable

Normal： 標準設定

HiFi： 高品質設定

Stable： ノイズを制御

- 受信状況によっては、【HiFi】設定時にノイズがより顕著になる場合があります。この場合は【Normal】設定をお勧めします。

言語設定

一般設定メニュー画面で【言語設定】を選択します。本機の設定メニュー、フィードバック情報などが、選択した言語で表示されるように変更できます。



設定項目：
言語

設定内容：
日本語、English

- ・ 現在選択されている言語が表示されます。

壁紙設定

一般設定メニュー画面で【壁紙とテーマ】を選択します。ディスプレイ画面の壁紙を、4 種類のカラーの初期画像またはご自身の画像から選んで変えることができます。



初期画像を使って壁紙を設定する

設定内容：
アンバー / ブルー / グリーン / レッド

希望する画像をタッチして、【壁紙設定】をタッチします。

ご自身の画像を使って壁紙を設定する

- 1 【ユーザー画像】をタッチします。
画像選択画面が表示されます。



- 2 接続している USB メモリーに保存されている画像を選択します。
選択した画像のサムネイルが表示されます。
壁紙に画像を使用しない場合は、選択せずに【初期画像】をタッチして前の画面に戻ります。
- 3 【壁紙トリミング】をタッチします。
- 4 壁紙用にトリミングする領域をタッチします。
画像が 800 × 480 ピクセルの場合は、この手順は不要です。
- 5 【テーマ設定】をタッチしてテーマ色を変更します。
- 6 希望の色をタッチします。
- 7 【壁紙設定】をタッチします。

画面 / LED カスタマイズ設定

一般設定メニュー画面で【画面設定】を選択します。



設定項目：
画質調整 / ディスプレイの明るさ / 照光スイッチの明るさ

バックライトの明るさを設定する（調光）

バックライトは、液晶パネルに組み込まれている LED を光源としています。車内の明るさによってバックライトの明るさを調整し、見やすくします。

設定項目：
画質調整

設定内容：
Off、On、自動（初期設定）

- Off：自動ディマーマードを無効にし、モニターのバックライトを明るくします。
- On：モニターのバックライトを暗くします。
- 自動：モニターのバックグラウンド照明を、車内の明るさに合わせて自動で調整します。

- ・ [On] に設定すると、「夜間のボタン照明を調整する」（13 ページ）のボタン照明と「バックライトの最小レベルを調整する」（12 ページ）にも設定が適用されます。

バックライトの最小レベルを調整する

バックライトの明るさを調整することができます。この機能は、例えば夜に運転する際の画面の明るさを変更するのに利用できます。

設定項目：
ディスプレイの明るさ

設定内容：
-15 ~ 15（初期設定：0）

- ・ 「画質調整」を [On] または [自動] に設定しているときのみ設定できます。

夜間のボタン照明を調整する

夜間のボタン照明の明るさを、ディママーで調整できます。

設定項目：

照光スイッチの明るさ

設定レベル：

-2 ~ 2（初期設定：0）

- ・「画質調整」を【On】または【自動】に設定しているときのみに設定できます。

時計設定

一般設定メニュー画面で【時計】を選択します。

現在時刻と時計表示の種類を、12 時間表示または 24 時間表示に設定できます。



設定項目：

時計

【+】または【-】をタッチして、時間、分および午前 / 午後を設定します。

数字キーを使うこともできます。

※ 24 時間表示に変更するには、「24H」を【On】(☑) に設定します。

ディスプレイオフ設定

一般設定メニュー画面で【画面 Off】を選択すると、ディスプレイがオフになります。

設定項目：

画面 Off

- ・ディスプレイオフモードを無効にするには、画面またはいずれかのボタンをタッチします。
- ・ディスプレイオフモードは、電源または ACC を切ると無効になります。
- ・シフトレバーをリバース(R)位置にし、バックカメラを接続すると、バックカメラの画像が表示されます。
- ・Bluetooth 接続した電話で受信すると、着信画面が表示されます。
- ・ホーム画面の【画面 Off】ウィジェットをタッチして、直接ディスプレイオフモードを有効にすることもできます。

DAF1 1V/DAF9V/DAF9 について

一般設定メニュー画面で【情報】を選択します。

【情報】を使って、シリアル番号やファームウェアのバージョン、機種名を確認したり、様々な設定を初期化したりすることができます。



製品情報を表示する

本製品のバージョン情報を見ることができます。この情報を書き留めておき、アルパインインフォメーションセンターに連絡する際に参照してください。

設定項目：

バージョン情報

設定内容：

Serial No. / SYSTEM version / Firmware Version

保証書 / 著作権情報を表示する

設定項目：

保証 / 著作権情報

設定内容：

オープンソースライセンス / Notice

システムを初期化する

すべてのデータを工場出荷時の設定に戻すことができます。操作をおこなう前に、USB メモリーなどを本機から取り外してください。

- 1 【全設定項目初期化】をタッチします。
- 2 確認メッセージが表示されたら【はい】をタッチします。
システムが初期化を開始します。
確認画面が表示されます。
- 3 【確認】をタッチします。
 - ・システムの再起動が完了するまでは、電源を ON/OFF したり、イグニッションキーの位置を変えたり、画面のパネルを取り外したりしないでください。

接続確認

一般設定メニュー画面で【車両情報】を選択します。
リバース信号線 / パーキングブレーキ信号線の接続状況を確認することができます。
項目を選択すると、接続確認画面が表示されます。



設定項目：
車両情報

設定内容：
リバース / パーキングブレーキ

リアシートエンターテインメント (RSE) 設定 (DAF11V/DAF9V のみ)

一般設定メニュー画面で【RSE】を選択します。
HDMI 出力に関連する項目を設定することができます。



設定項目：
出力 / フォーマット

HDMI 出力設定

HDMI 出力を使うには、【ON】に設定してください。

設定項目：
出力

設定内容：
OFF (初期設定) / ON

出力フォーマット設定

HDMI 出力設定が ON の時、HDMI 出力のフォーマット (解像度) を設定できます。

設定項目：
フォーマット

設定内容：
自動：自動で最適なフォーマット (解像度) を選択します。
480p: 出力解像度を 480p に固定します。
720p: 出力解像度を 720p に固定します。
1080p: 出力解像度を 1080p に固定します。

※ HDMI 出力に接続したモニターの対応解像度によって、選択できない場合があります。

接続 (Bluetooth) 設定

設定メニュー画面で【接続機器】を選択します。

■ 接続設定メニュー画面



設定項目：
Bluetooth 情報 (14 ページ)
Bluetooth 機器設定 (14 ページ)
着信自動応答 (15 ページ)
Apple CarPlay (15 ページ)

Bluetooth 情報を表示する

接続設定メニュー画面で【Bluetooth 情報】を選択します。
Bluetooth 機器名と本機の機器アドレスを表示することができます。

設定項目：
Bluetooth 情報

Bluetooth 機器とペアリングをおこなう

接続設定メニュー画面で【Bluetooth 機器設定】を選択します。
Bluetooth 対応機器を検索してください。

設定項目：
Bluetooth 機器設定

- 1 【Bluetooth 機器設定】をタッチします。
Bluetooth 設定画面が表示されます。
 - ・ ホーム画面の【Bluetooth 設定】ウィジェットをタッチして、直接 Bluetooth 設定画面を表示することもできます。
- 2 Bluetooth 機器上で本機を選択します。
登録する機器についてのメッセージが表示されます。
- 3 【はい】をタッチします。
Bluetooth 機器が接続されます。
スマートフォンに接続している場合は、電話帳をダウンロードするためのメッセージが表示されます。
- 4 リストから接続したい機器の【🎵】(オーディオ) または【📶】(ハンズフリー) をタッチします。
オーディオ：オーディオ機器として使用されます。
ハンズフリー：ハンズフリー機器として使用されます。
 - ・ Bluetooth 対応の携帯電話を 5 台まで登録できます。
 - ・ Bluetooth 機器 1 台を Bluetooth オーディオモードとハンズフリーモードそれぞれに接続することができます。

- Bluetooth 登録の手順はデバイスのバージョンおよび SSP (Simple Secure Pairing) によって異なります。4 ～ 6 文字のパスキーが本システムに表示されたら、Bluetooth 機器上のパスキーを入力してください。
- 6 文字のパスキーが本機に表示されたら、同じパスキーが Bluetooth 対応機器に表示されていることを確認し、[OK] をタッチしてください。
- 機器を 5 台すべて登録した場合は、6 台目の機器は登録できません。別の機器を登録するには、5 台の中の 1 台を削除する必要があります。

Bluetooth 機器を設定する

あらかじめ登録した 5 台のペアリング済み Bluetooth 対応機器から 1 台を選択してください。

ペアリングした機器リストから接続したい機器の【】(オーディオ) または【】(ハンズフリー) をタッチします。



- 機器名をタッチして、接続機器を変更することもできます。

Bluetooth 機器をリストから削除する

以前接続した Bluetooth 対応機器の情報を削除することができます。

1 ペアリングした機器リストから削除する Bluetooth 対応機器の【】をタッチします。

2 【はい】をタッチします。

- 【いいえ】をタッチすると、設定を取り消します。

自動接続を設定する

最後に接続した機器に自動で接続することができます。

「自動接続」を【On】() に設定してください。

自動応答設定

着信時に自動で応答する設定をすることができます。

「着信自動応答」の【】(Off) または【】(On) をタッチします。

Apple CarPlay 設定

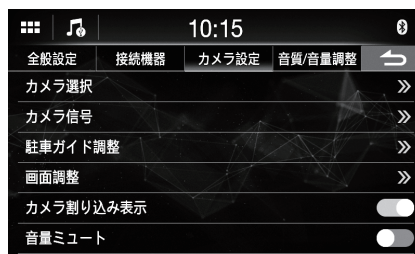
Apple CarPlay (22 ページ) を使うには、「Apple CarPlay」を【On】に設定してください。

「Apple CarPlay」の【】(Off) または【】(On) をタッチします。

カメラ設定

設定メニュー画面で【カメラ設定】を選択します。カメラに関連する項目を設定することができます。

■ カメラ設定メニュー画面



設定項目：

カメラ選択 (15 ページ)

カメラ信号 (15 ページ)

駐車ガイド調整 (16 ページ)

画面調整 (16 ページ)

カメラ割り込み表示 (DISPLAYOFF Mode) (16 ページ)

音声ミュート (16 ページ)

カメラ入力設定

カメラ設定メニュー画面で【カメラ選択】を選択します。

設定項目：

カメラ選択

設定内容：

Off (初期設定) / リア

Off： カメラが接続されていません。

リア： バックカメラが接続されます。

カメラ信号入力設定

カメラ設定メニュー画面で【カメラ信号】を選択します。カメラを接続すると、映像入力信号の種類を選択することができます。

追加設定項目：

カメラ信号

設定内容：

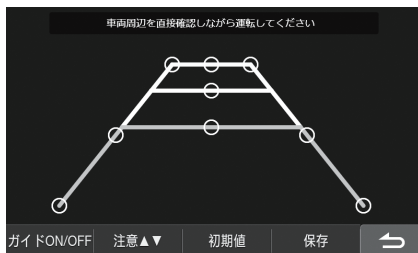
NTSC (初期設定) / PAL

バックカメラガイド設定

カメラ設定メニュー画面で【**駐車ガイド調整**】を選択します。
カメラガイドの位置を調整することができます。

設定項目：
駐車ガイド調整

- 1 カメラ設定メニュー画面で【**駐車ガイド調整**】をタッチします。
カメラガイド調整画面が表示されます。



- 2 【○】をスライドして調整します。
- 3 調整が完了したら【**保存**】をタッチします。
 - ・【**初期値**】をタッチすると、調整した内容がクリアされ、ガイド線が修正する前の設定に戻ります。
- 4 【←】をタッチして調整を完了し、前の画面に戻ります。

バックカメラのガイドを On/Off する

カメラのガイドの非表示 / 表示を設定することができます。

設定項目：
ガイド ON/OFF

設定内容：
Off/On

コーションの位置を調整する

画面に表示するコーションの位置を動かすことができます。

設定項目：
注意 ▲▼

カメラ画質の設定

カメラ設定メニュー画面で【**画質調整**】を選択します。



設定項目：
画質調整

明るさを調整する

設定項目：
Brightness

設定内容：
-15 ~ 15（初期設定：0）

- ・明るさを最小（-15）～最大（+15）の間で調整できます。

ディスプレイの色を調整する

設定項目：
Color

設定内容：
-15 ~ 15（初期設定：0）

- ・色を最小（-15）～最大（+15）の間で調整できます。

ディスプレイのコントラストを調整する

設定項目：
Contrast

設定内容：
-15 ~ 15（初期設定：0）

- ・コントラストを最小（-15）～最大（+15）の間で調整できます。

カメラ割り込み設定（ディスプレイ OFF モード）

本機がディスプレイ OFF モードの間にシフトレバーをリバース（R）位置に移動したとき、バックカメラの画像を表示するかどうか設定することができます。

設定項目：
カメラ割り込み表示

ディスプレイ OFF モードに設定するには、「カメラ割り込み表示」の【】（Off）または【】（On）をタッチします。

ミュート設定

シフトレバーをリバース（R）位置に移動したとき、自動で音量をミュートするように設定できます。

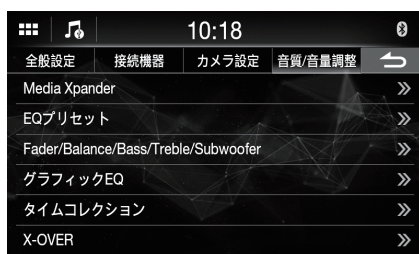
設定項目：
音量ミュート

スピーカーをONに設定するには、「音量ミュート」の【】（Off）または【】（On）をタッチします。

サウンド設定

設定メニュー画面で【音質 / 音量調整】を選択します。
音質に関連する項目を設定することができます。

■ サウンド設定メニュー画面



設定項目：

Media Xpander (17 ページ)

EQ プリセット (17 ページ)

Fader/Balance/Bass/Treble/Subwoofer (17 ページ)

グラフィック EQ (18 ページ)

タイムコレクション (18 ページ)

X-Over (19 ページ)

音量 (19 ページ)

サブウーファー (20 ページ)

リアスピーカー (20 ページ)

DEFEAT (20 ページ)

Media Xpander (MX) を設定する

サウンド設定メニュー画面で【Media Xpander】を選択します。
Media Xpander (MX) は、音源に関係なくボーカルや楽器の音を際立たせます。走行中の雑音が多い車内でも、USB メモリーや iPod で音楽を明瞭に再生できます。

設定項目：

Media Xpander

1 【ALL MX】のチェックボックスをタッチします。

2 【Off】【Level 1】【Level 2】【Level 3】のいずれかをタッチします。

- MX モードを OFF するには、手順 1 で【Off】に設定してください。
- MP3/WMA/AAC には個別の MX 設定をすることができます。
- デフォルト設定が【On】の場合は、設定することができません。
- MX の設定は、ソースが選択されているときのみ設定することができます。

イコライザー設定

サウンド設定メニュー画面で【EQ プリセット】を選択します。
色々な音楽ソースに向けて、10 種類のイコライザー設定があらかじめセットされています。



設定項目：

EQ プリセット

設定内容：

FLAT (初期設定) / POP / ROCK / CLASSICAL / JAZZ /
ELECTRONIC / HIP HOP / EASY LISTENING / COUNTRY / NEWS

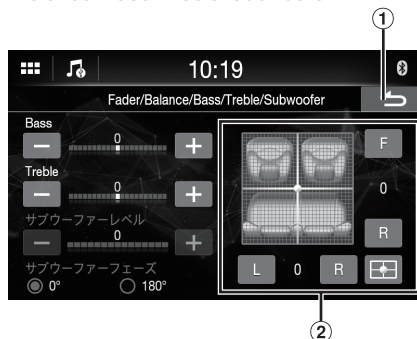
- 1 種類のみ ON に設定できます。
- イコライザープリセットを設定すると、連動しているグラフィック EQ 設定も変更されます。あらかじめグラフィック EQ 設定をプリセットに保存しておくことをお勧めします。
- イコライザープリセットの設定は、デフォルトが OFF のときに設定することができます。

フェーダー / バランス / 低音 / 高音 / サブウーファー設定

サウンド設定メニュー画面で【Fader/Balance/Bass/Treble/Subwoofer】を選択します。

設定項目：

Fader/Balance/Bass/Treble/Subwoofer



- 取り消し
サウンド設定が終了します。
- Fader/Balance イメージエリア

フェーダー / バランスを設定する

画像エリア内の希望するポイントをタッチするか、【F】(フロント)、【R】(リヤ)、【L】(左)または【R】(右)をタッチします。

Fader：

15 (F) ～ 15 (R)

Balance：

15 (L) ～ 15 (R)

- 初期設定 (F/R : 0、L/R : 0) に戻すには、[田] をタッチしてください。

低音 / 高音を調整する

【+】または【-】をタッチして各項目を調整します。

設定項目：
Bass、Treble

設定内容：
-10 ~ 10（初期設定：0）

サブウーファーを設定する

サブウーファーのレベルを調整する

設定項目：
サブウーファーレベル

設定内容：
0（初期設定）～15

- 「サブウーファー」を【On】（20 ページ）に設定しているときのみ設定できます。

サブウーファーのフェーズを設定する

サブウーファー出力フェーズを、サブウーファーノーマル（0°）またはサブウーファーリバース（180°）のいずれかに切り換えます。

設定項目：
サブウーファーフェーズ

設定内容：
0°（初期設定）、180°

- 「サブウーファー」を【On】（20 ページ）に設定しているときのみ設定できます。

グラフィックイコライザー設定 （グラフィック EQ）

サウンド設定メニュー画面で【グラフィック EQ】を選択します。イコライザーの設定を変えて、より好みに合った EQ カーブを作ることができます。

設定項目：
グラフィック EQ

設定内容：
-7 ~ 7

- 「DEFEAT」を【On】（20 ページ）に設定しているときのみ設定できます。

- 1 サウンド設定メニュー画面で【グラフィック EQ】をタッチします。



- 2 調整するバンドをタッチします。

- 3 【+】または【-】をタッチして、バンドのレベルを調整します。
 - ・スライダーを動かしてバンドのレベルを調整することもできます。

- 4 別のバンドを調整するには、手順 2 ~ 3 を繰り返してすべてのバンドを調整します。

18

- 5 調整した設定値を保存するには、【プリセット 1】、【プリセット 2】または【プリセット 3】を 2 秒以上、長押しします。

- ・隣接するバンドの周波数を超える設定はできません。
- ・グラフィック EQ は、接続したスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- ・グラフィック EQ を調整すると、イコライザーのプリセットが上書きされます。
- ・イコライザープリセットを設定すると、連動しているグラフィック EQ 設定も変更されます。あらかじめグラフィック EQ 設定をプリセットに保存しておくことをお勧めします。
- ・【フラット】をタッチすると全ての値が初期化されます。

グラフィック EQ 調整値を呼び出す

【プリセット 1】、【プリセット 2】または【プリセット 3】をタッチします。プリセットに保存した設定が、呼び出されます。

タイムコレクション設定

サウンド設定メニュー画面で【タイムコレクション】を選択します。以下の手順を実施する前に、「タイムコレクションについて」（21 ページ）をご参照ください。



修正モード

設定項目：
Time Correction

- 1 サウンド設定メニュー画面で【タイムコレクション】をタッチします。
- 2 修正モードボタンをタッチして、【ms】、【cm】または【inch】を選択します。
- 3 各スピーカーに対し【-】または【+】をタッチし、時間や距離を調整します。
 - 0.0 ミリ秒 ~ 9.9 ミリ秒（0.1 ミリ秒きざみ）
 - 0.0cm（0.0 インチ） ~ 336.6cm（132.56 インチ）（3.4cm きざみ）スピーカーの設定値はすべて、20 ミリ秒または 680cm の範囲で調整できます。
- 4 調整した設定値を保存するには、【プリセット 1】、【プリセット 2】または【プリセット 3】を 2 秒以上、長押しします。
 - ・【フラット】をタッチするとすべての値を 0.0 に設定します。
 - ・リヤスピーカーの設定が OFF のとき、リヤスピーカーの設定は編集できません（20 ページ）。
 - ・サブウーファーの設定が OFF のとき、サブウーファーの設定は編集できません（20 ページ）。

プリセットを呼び出す

プリセットされている値を呼び出します。

タイムコレクション画面の【プリセット 1】、【プリセット 2】または【プリセット 3】をタッチします。プリセットに保存した設定が、呼び出されます。

クロスオーバー設定 (X-OVER)

サウンド設定メニュー画面で **【X-OVER】** を選択します。
以下の手順を実施する前に、「クロスオーバーについて」
(20 ページ) をご参照ください。



設定項目：
X-OVER

- 1 サウンド設定メニュー画面で **【X-OVER】** をタッチします。
- 2 **【Channel】** をタッチし、**【Front HPF】**、**【Rear HPF】** または **【SubW.LPF】** を選択します。
- 3 クロスオーバーを好みの値に設定します。

カットオフ周波数を選択する

「Freq.」(周波数) の **【◀】** または **【▶】** をタッチし、カットオフ周波数を選択します。

設定内容：
20.0 / 25.0 / 31.5 / 40.0 / 50.0 / 63.0 / 80.0 (初期設定) /
100.0 / 125.0 / 160.0 / 200.0 Hz

スロープを調整する

「Slope」の **【◀】** または **【▶】** をタッチし、HPF または LPF スロープを調整します。

設定内容：
0 (初期設定) / 6 / 12 / 18 / 24 dB/oct.

レベルを調整する

「Level」の **【-】** または **【+】** をタッチし、HPF または LPF レベルを調整します。

設定内容：
-12 ~ 0 dB (初期設定: 0)

- 4 手順 2 ~ 3 を繰り返して、他のチャンネルも調整します。

- 5 調整した設定値を保存するには、**【プリセット 1】**、**【プリセット 2】** または **【プリセット 3】** を 2 秒以上、長押しします。

- ・ **【フラット】** をタッチすると全ての値が初期化されます。
- ・ リヤスピーカーの設定が OFF のとき、リヤスピーカーの設定は編集できません (20 ページ)。
- ・ サブウーファースの設定が OFF のとき、サブウーファースの設定は編集できません (20 ページ)。
- ・ X-OVER は、接続したスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。

X-OVER 調整値を呼び出す

【プリセット 1】、**【プリセット 2】** または **【プリセット 3】** をタッチします。
プリセットに保存した設定が、呼び出されます。

音量設定

サウンド設定メニュー画面で **【音量】** を選択します。



- ・ 接続機器や設定によっては、設定できるソースが異なります。

キー音を調整する

ボタンを押したときの音量を変更することができます。

設定項目：
音声読み上げ

設定内容：
0 ~ 7 (初期設定: 4)

ソースの音量を調整する

音量設定メニュー画面で **【案内音声】** をタッチします。



設定項目：
Radio / 圧縮オーディオ* / iPod / Bluetooth Audio

設定内容：
0 ~ 11 (初期設定: 5)

※ 圧縮メディアとは USB メモリーの中の音楽データ (MP3 / WMA / AAC / FLAC / WAV) を指します。

Android Auto の音量を設定する

Android のスマートフォンに接続した際に、**【Android Auto 音量】** にタッチして、Android Auto モードの音量を調整します。

設定項目：
Media / 通知音量

設定内容：
Media 0 to 11 (初期設定: 5)
通知音量 0 to 35 (初期設定: 12)

Apple CarPlay の音量を設定する

iPhone 5s 以降のバージョンに接続した際に、【Apple CarPlay 音量】にタッチして、Apple CarPlay モードの音量を設定します。

設定項目：

Media / 通知音量 / 着信音量 / 通話音量

設定内容：

Media 0 to 11 (初期設定：5)
通知音量 0 to 35 (初期設定：12)
着信音量 0 to 11 (初期設定：5)
通話音量 0 to 11 (初期設定：5)

電話の音量を調整する

通話中にスピーカーの音量および受信音量を調整することができます。

設定項目：

スピーカー音量 / マイクレベル / 着信音量

設定内容：

0 ~ 11 (初期設定：5)

サブウーファーを ON/OFF する

オプションのサブウーファーを本機に接続した場合は、以下の設定をおこなってください。

設定項目：

サブウーファー

サブウーファーを ON に設定するには、「サブウーファー」の【】(Off) または【】(On) をタッチします。

リヤスピーカーの設定

リヤスピーカーの出力を OFF に設定することができます。

設定項目：

リヤスピーカー

リヤスピーカーを ON に設定するには、「リヤスピーカー」の【】(Off) または【】(On) をタッチします。

ディフィート設定

ディフィートを ON にすると、イコライザーの設定は OFF になります。これにより、これらの機能に対しておこなっていた設定がすべて無効になります。

設定項目：

DEFEAT

DEFEAT を ON に設定するには、「DEFEAT」の【】(Off) または【】(On) をタッチします。

クロスオーバーについて

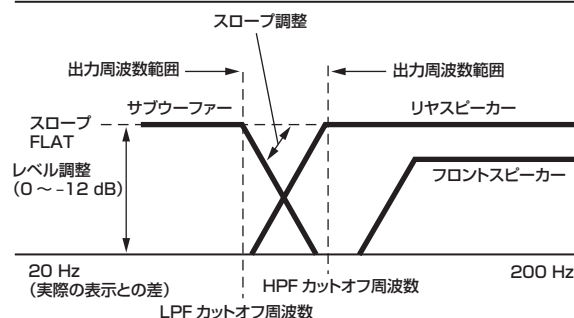
クロスオーバー (X-OVER)：

本機はアクティブクロスオーバーを搭載しています。クロスオーバーは、出力する周波数を各チャンネルごとに制御します。これにより、各スピーカーは、最適な周波数で出力することができます。クロスオーバーは、各バンドの HPF (ハイパスフィルター) や LPF (ローパスフィルター) を調整し、スロープ (フィルターの減衰特性の傾き) も調整します。調整は、スピーカーの再生特性に合わせておこなってください。スピーカーによっては、パッシブネットワークは不要な場合があります。これについて不明な場合は、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

	カットオフ周波数 (1/3 オクターブ ステップ)		スロープ		レベル
	HPF	LPF	HPF	LPF	
サブウー ファー (LPF)	---	20 Hz ~ 200 Hz	---	0、6、 12、18、 24 dB/ oct.	0 ~ -12 dB
リヤ スピーカー (HPF)	20 Hz ~ 200 Hz	---	0、6、 12、18、 24 dB/ oct.	---	0 ~ -12 dB
フロント スピーカー (HPF)	20 Hz ~ 200 Hz	---	0、6、 12、18、 24 dB/ oct.	---	0 ~ -12 dB

低域

高域



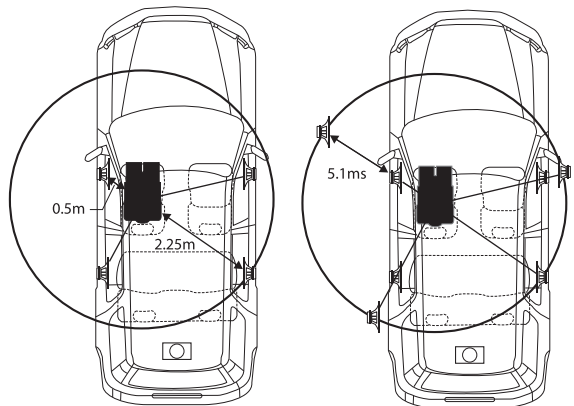
- ・ HPF (ハイパスフィルター)：低音域をカットします。
- ・ LPF (ローパスフィルター)：高音域をカットします。
- ・ スロープ：1 オクターブの周波数変更に対するレベルの変更 (dB)
- ・ スロープ値が高くなるほど、スロープは急勾配になります。
- ・ HP または LP フィルターを回避するために、スロープを FLAT に調整してください。
- ・ HPF を ON にしないでツイーターを使ったり、低音域に設定しないでください。低音域によるスピーカーの損傷の原因になります。
- ・ 調整は、接続したスピーカーの推奨クロスオーバー周波数に合わせておこなってください。スピーカーの推奨クロスオーバー周波数を確認してください。推奨外の周波数範囲に調整すると、スピーカーの損傷の原因になります。アルパイン製スピーカーの推奨クロスオーバー周波数については、個々の取扱説明書を参照してください。推奨値外のクロスオーバーを使用することでスピーカーに損傷や故障が生じたとしても、当社は責任を負いません。

タイムコレクションについて

タイムコレクションは音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

例 1 リスニング位置：フロント左側座席

フロント左スピーカーの時間補正値を高い値に、リヤ右スピーカーを低い値に調整してください。



リスニング位置とそれぞれのスピーカーまでの距離が異なるため、音のバランスがとれていません。
フロント左スピーカーとリヤ右スピーカーの距離の差は 1.75m です。
上図におけるフロント左スピーカーの時間補正値を、ここで計算します。

条件：
最も遠いスピーカー - リスニング位置：2.25m
フロント左スピーカー - リスニング位置：0.5m
計算： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$
補正時間 $= 1.75 \div 343 * 1,000 = 5.1$ (ミリ秒)

※ 音速：20℃ のとき、343m/s (765mph)

言い換えると、フロント左スピーカーに 5.1 ミリ秒の時間補正値を与えることで、リスナーからのその距離は、最も遠いスピーカーまでの距離と同じであるように設定できるということです。

時間補正を実施することで、音がリスニング位置に届く時間の差を無くすることができます。
フロント左スピーカーの時間は 5.1 ミリ秒補正され、他のスピーカーの音と同時にリスニング位置に届くことになります。

例 2 リスニング位置：全座席

各スピーカーの時間補正レベルがほぼ同じになるように調整してください。

- 1 リスニング位置（運転席など）に座り、リスナーの頭とそれぞれのスピーカーの距離（メートル）を測定します。
- 2 最も遠いスピーカーの距離の補正値とその他のスピーカーの距離の補正値の差を計算します。

$L = (\text{最も遠いスピーカーまでの距離}) - (\text{他のスピーカーまでの距離})$

これらの値は、異なるスピーカーに対する時間補正値です。これらの値を設定して、それぞれの音が他のスピーカーの音と同時にリスニング位置に届くようにします。

時間補正値リスト

時間差 (msec)	距離 (cm)	距離 (inch)	時間差 (msec)	距離 (cm)	距離 (inch)
0.0	0.0	0.0	5.1	173.4	68.3
0.1	3.4	1.3	5.2	176.8	69.7
0.2	6.8	2.7	5.3	180.2	71.0
0.3	10.2	4.0	5.4	183.6	72.4
0.4	13.6	5.4	5.5	187.0	73.7
0.5	17.0	6.7	5.6	190.4	75.0
0.6	20.4	8.0	5.7	193.8	76.4
0.7	23.8	9.4	5.8	197.2	77.7
0.8	27.2	10.7	5.9	200.6	79.1
0.9	30.6	12.1	6.0	204.0	80.4
1.0	34.0	13.4	6.1	207.4	81.7
1.1	37.4	14.7	6.2	210.8	83.1
1.2	40.8	16.1	6.3	214.2	84.4
1.3	44.2	17.4	6.4	217.6	85.8
1.4	47.6	18.8	6.5	221.0	87.1
1.5	51.0	20.1	6.6	224.4	88.4
1.6	54.4	21.4	6.7	227.8	89.8
1.7	57.8	22.8	6.8	231.2	91.1
1.8	61.2	24.1	6.9	234.6	92.5
1.9	64.6	25.5	7.0	238.0	93.8
2.0	68.0	26.8	7.1	241.4	95.1
2.1	71.4	28.1	7.2	244.8	96.5
2.2	74.8	29.5	7.3	248.2	97.8
2.3	78.2	30.8	7.4	251.6	99.2
2.4	81.6	32.2	7.5	255.0	100.5
2.5	85.0	33.5	7.6	258.4	101.8
2.6	88.4	34.8	7.7	261.8	103.2
2.7	91.8	36.2	7.8	265.2	104.5
2.8	95.2	37.5	7.9	268.6	105.9
2.9	98.6	38.9	8.0	272.0	107.2
3.0	102.0	40.2	8.1	275.4	108.5
3.1	105.4	41.5	8.2	278.8	109.9
3.2	108.8	42.9	8.3	282.2	111.2
3.3	112.2	44.2	8.4	285.6	112.6
3.4	115.6	45.6	8.5	289.0	113.9
3.5	119.0	46.9	8.6	292.4	115.2
3.6	122.4	48.2	8.7	295.8	116.6
3.7	125.8	49.6	8.8	299.2	117.9
3.8	129.2	50.9	8.9	302.6	119.3
3.9	132.6	52.3	9.0	306.0	120.6
4.0	136.0	53.6	9.1	309.4	121.9
4.1	139.4	54.9	9.2	312.8	123.3
4.2	142.8	56.3	9.3	316.2	124.6
4.3	146.2	57.6	9.4	319.6	126.0
4.4	149.6	59.0	9.5	323.0	127.3
4.5	153.0	60.3	9.6	326.4	128.6
4.6	156.4	61.6	9.7	329.8	130.0
4.7	159.8	63.0	9.8	333.2	131.3
4.8	163.2	64.3	9.9	336.6	132.7
4.9	166.6	65.7			
5.0	170.0	67.0			

Apple CarPlay を つないで使う

Apple CarPlay で、お使いの iPhone をよりスマートかつ安全に車内でお使いいただけます。Apple CarPlay を使えば、運転中に iPhone でしたいことを取り込んで、本機で操作できるようになります。行き方を調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を聴くなど、運転に集中したまますべてをこなすことができます。iPhone を本機に接続するだけで準備完了です。

- 本機能をご利用の前に、Lightning USB ケーブル (iPhone に付属) を使って、iPhone を本機に接続してください。
- 運転中は、いくつかの機能が利用できない場合があります。
- 本機で使える iPhone の機種については、「iPhone の iPod モード (オプション)」(27 ページ) をご参照ください。Apple CarPlay 機能に対応するのは、iPhone 5s 以降の機種のみになります。
- Apple CarPlay を操作する前に、「Apple CarPlay」を [On] (15 ページ) に設定してください。

Apple CarPlay にアクセスする

1  (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

2 **[Apple CarPlay]** をタッチします。

Apple CarPlay 画面が表示されます。
本機で希望するアプリのアイコンをタッチするか、 ボタンをタッチして Siri 機能をお使いください。

- iPhone 5s 以降の機種を再接続し、ポップアップメッセージ「Apple CarPlay connected.」を 5 秒以内にタッチして、Apple CarPlay 画面にアクセスしてください。または、右上の  をタッチして、プロンプトを無視することもできます。
- ホーム画面に表示するためには、アプリは対応する Apple CarPlay でなくてはなりません。

Android Auto を つないで使う

Android Auto とは

Android Auto は、運転中にスマートフォンからアプリをより簡単に使えるよう設計されています。Google マップでナビゲートしたり、お気に入りのアプリからプレイリストやポッドキャストを聴いたりすることができます。

Android Auto を有効にする

Google Play ストアから Android Auto アプリをダウンロードし、操作してください。
スマートフォンを本機の USB コネクタに接続し、プロンプトにしたがってスマートフォンと本機のペアリングをおこなってください。

- Android Auto を搭載したスマートフォンを接続すると、その他の電話の Bluetooth 接続を切り、本機とペアリングをおこないます。

1  (ホーム) ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。

2 **[Android Auto]** をタッチします。

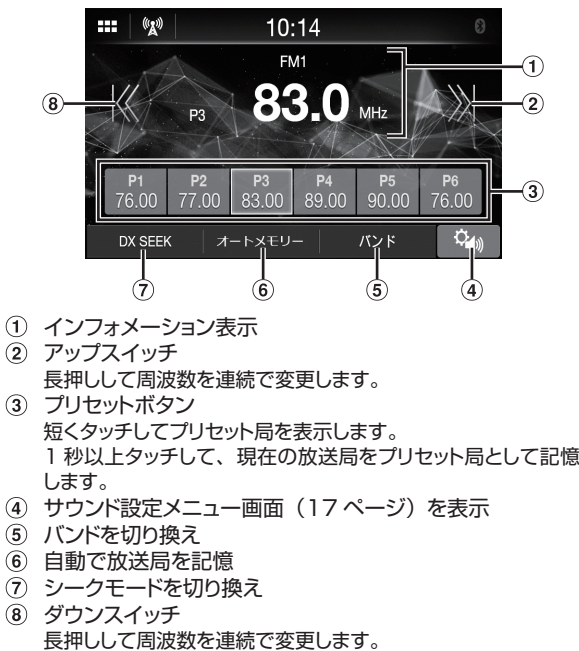
Android Auto 画面が表示されます。

- スマートフォンを再接続し、ポップアップメッセージ「Android Auto connected」を 5 秒以内にタッチして、Android Auto 画面にアクセスしてください。または、右上の  をタッチして、プロンプトを無視することもできます。
- 電話をしたり、音声認識機能や Android Auto が対応するナビゲーションアプリなどを使うことができます。
- ドライバーに必要な安全策を備えた Google 認可のアプリのみを使用することができます。

ラジオ

ホーム画面には 3 種類の【Radio】ウィジェットがあります。

■ ラジオメイン画面の例



ラジオの基本操作

ラジオを聞く

- 1 **⌂ (ホーム)** ボタンをタッチして、ラジオモードを選択します。
ラジオモード画面が表示されます。
- 2 **【バンド】** を繰り返しタッチして、希望のバンドを **【FM1】** / **【FM2】** / **【AM】** から選択します。
- 3 **【DX SEEK】**、**【SEEK】** または **【MANUAL】** を繰り返しタッチして、チューニングモードを選択します。
ラジオ周波数の上 / 下ボタンは、チューニングモードによって変わります。

DX SEEK	受信可能な放送局を自動的に受信します（自動選局）。
SEEK	電波の強い放送局だけを自動的に受信します（自動選局）。
MANUAL	手動で周波数を切りかえます。
- 4 **【<】**、**【>】**、**【<<】**、**【>>】** をタッチして、ラジオ周波数を上 / 下にそれぞれ変更します。
マニュアルモードでは、長押しして周波数を連続で変更します。

放送局を手動でプリセットする

- 1 手動または自動シークチューニングで、プリセットメモリーに保存したいラジオ局を受信します。
- 2 保存したいプリセット番号を 1 秒以上タッチします。
選択した局が保存されます。
- 3 手順を繰り返して、同じバンドにその他 5 つまで保存します。
他のバンドにこの手順を使用するには、希望のバンドを選択して、手順を繰り返してください。

全部で 18 放送局をプリセットメモリーに記憶できます（各バンドに 6 局：FM1、FM2 および AM）。

- ・ 同じプリセット番号にすでにプリセットメモリーがセットされている場合は、そのメモリーはクリアされ、新しい放送局が記憶されます。

放送局を自動でプリセットする

チューナーは、選択したバンドの中の受信状態が強い 6 つの放送局を自動で探して、周波数の小さい順に保存することができます。

希望のバンドを選択して、**【オートメモリー】** を長押しします。チューナーは、受信状態が強い 6 つの放送局を自動で探して、周波数の小さい順にプリセットボタンに保存します。
自動保存が完了すると、プリセット 1 に保存した局が選択されます。

- ・ 放送局が全く保存されなかった場合、チューナーは、自動保存の手順を開始する前に聞いていた元の放送局に戻ります。
- ・ チューナーが自動で放送局を探している間に、**【オートメモリー】** をタッチすると、このプロセスを取り消すことができます。取り消すと、チューナーのプリセットが元の設定に戻ります。

プリセット局に合わせる

希望のバンドを選択した後、希望のプリセットボタンをタッチします。
プリセット局が受信されます。

USB メモリー (オプション)

USB メモリーに保存している音楽ファイル (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) やビデオファイル (MP4/AVI/WMV/MOV) および写真ファイル (JPG/PNG/BMP) を本システム内部のプレーヤーで再生することができます。

⚠ 警告

車両を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です。ドライバーの前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。

車両を停止しパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがビデオを見ることができないように、本機を正しく設置してください。

本機を正しく設置していない場合、ドライバーが運転中にビデオを見ることが可能になり、前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

USB オーディオ

■ USB オーディオモード画面



- ① アートワーク表示
- ② インフォメーション表示
- ③ アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ④ シャッフルモード
- ⑤ リピートモード
- ⑥ サウンド設定メニュー画面 (17 ページ) を表示
- ⑦ iPhone の iPod モードまたは Bluetooth Audio に切り換え
- ⑧ サーチ画面を表示
- ⑨ 一時停止と再生
- ⑩ 経過時間 / 合計再生時間
- ⑪ 現在の曲番号 / 全曲数
- ⑫ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

再生

- 1 (ホーム) ボタンをタッチして、USB オーディオモードを選択します。
USB オーディオモード画面が表示されます。

- 2 **【<】** または **【>】** をタッチして、希望の曲 (ファイル) を選択します。

現在 (または直前) の曲 (ファイル) の頭に戻る:
【<】 をタッチします。

早戻し:
【<】 を長押しします。

次の曲 (ファイル) の頭に進む:
【>】 をタッチします。

早送り:
【>】 を長押しします。

- 3 再生を一時停止するには、**【>||<】** をタッチします。
【>||<】 を再びタッチすると、再生を再開します。

- ・ VBR (可変ビットレート) で記録されたファイルを再生する際は、再生時間が正しく表示されない場合があります。
- ・ タグ情報がある場合は、アーティスト名、アルバム名および曲名が表示されます。
- ・ ID3 tag/WMA tag
MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルに、ID3 タグ / WMA タグの情報が含まれる場合は、ID3 タグ / WMA タグの情報が表示されます。(例: 曲名、アーティスト名およびアルバム名)
- ・ ホーム画面で **【オーディオ】** ウィジェットを選択した際に、**【ソース選択】** をタッチし **【USB】** を選択します。**【USB】** がすでに選択されている場合は、ホーム画面で **【オーディオ】** ウィジェットを選択することで再生を開始できます。

早送り / 早戻し

- 1 再生中に **【<】** (早戻し) または **【>】** (早送り) を長押しします。
8 倍速で早送り / 早戻しするには、1 秒以上長押しします。タッチし続けると、16 倍速、32 倍速に切り換わります。

- 2 **【<】** または **【>】** から指を離すと通常の再生に戻ります。

- ・ 早送り / 早戻しの間は、音は再生されません。

リピート再生

【<↺>】、**【<↻>】** または **【↺>】** をタッチして、リピート再生モードを選択します。

全ファイル : 全ファイルを繰り返し再生します。

ファイル : 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。

フォルダ : フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。

シャッフル再生

【**≡**】をタッチして、シャッフル再生モードを選択します。

フォルダ **≡**：フォルダがランダムに選択され、そのフォルダの曲を順に再生します。フォルダ内のすべての曲を再生後、次のフォルダがランダムに選択されます。

曲 **≡**：現在再生中の曲を含め、フォルダ内（フォルダ / ファイル）のすべての曲をランダムに再生します。

OFF **≡**：シャッフルモードは無効です。

- ・サーチモードを使って曲を選択する場合は、シャッフルモードは取り消されます。

希望の曲をサーチする

1 【Q】（サーチ）をタッチします。

2 希望のフォルダ名とファイル名をタッチします。

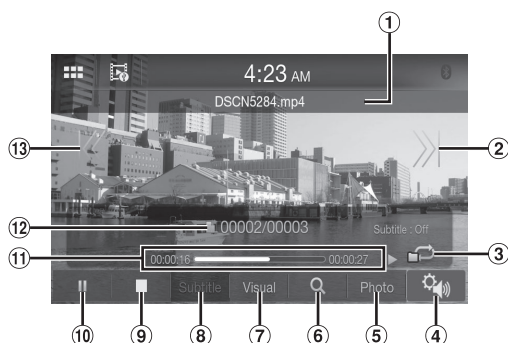
フォルダ名を選択し、同じ手順を繰り返して別のフォルダ名やファイル名を選択してください。

USB ビデオ

本機が対応しているビデオ形式（USB メモリー）は以下の通りです。

- 対応するフォーマット：AVI/MP4/WMV/MOV/MPG
- 対応するビデオコーディング：H.264/MPEG-4 AVC
- 対応するオーディオコーディング：MP3、AAC、MPEG2 オーディオ
- 最大ファイルサイズ：4GB

■ USB ビデオモード画面



- ① ファイル名
- ② アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ③ シャッフルモード
- ④ サウンド設定メニュー画面（17 ページ）を表示
- ⑤ USB フォトモードに切り換え
- ⑥ サーチ画面を表示
- ⑦ 明るさとコントラストを設定
- ⑧ サブタイトルを表示
- ⑨ 停止
- ⑩ 一時停止と再生
- ⑪ 経過時間 / 合計再生時間
- ⑫ 現在のファイル番号 / 全ファイル数
- ⑬ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

USB ビデオモードの基本操作については、「再生」（24 ページ）、「早送り / 早戻し」（24 ページ）および「希望の曲をサーチする」（25 ページ）をご参照ください。「USB Audio モード」の代わりに「USB Video モード」を選択してください。

- ・ USB ビデオモードを選択するには、ホーム画面で【USB Video】ウィジェットをタッチします。
- ・ 希望のビデオをサーチする際は、リピートモードの【ビデオリピート】をタッチします。

USB ビデオ再生中に、画面をタッチして操作画面を表示してください。

- ・ 操作をおこなった後で、操作画面は、USB ビデオモードのビジュアル画面に 5 秒間切り換わります。
- ・ 安全のため、運転中はビデオは表示されず、オーディオのみ聞こえます。

明るさとコントラストを設定する

1 【映像】をタッチします。

2 【+】または【-】をタッチして、明るさとコントラストを設定します。

※：明るさを調整

⦿：コントラストを調整

サブタイトルを表示する

「.smi」や「.srt」などのビデオファイルによっては、ファイルに含まれるサブタイトルを表示することができます。

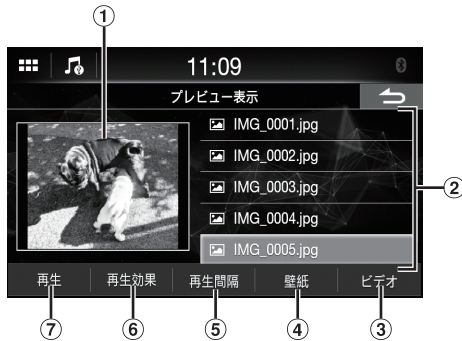
【字幕】をタッチします。

サブタイトルの表示を取り消すには、【字幕】を再度タッチします。

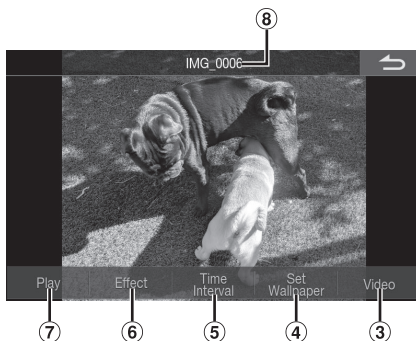
- ・ ファイルが対応していない、あるいはサブタイトルがファイルに含まれていない場合は、【字幕】は利用できません。

USB フォト

■ USB フォトモードプレビュー画面



■ USB フォトモード画面



- ① フォトプレビュー
- ② フォトファイルリスト
- ③ USB ビデオモードに切り換え
- ④ フォトを壁紙に設定 (12 ページ)
- ⑤ スライドショーの時間間隔を設定
- ⑥ フォトにエフェクトを適用
- ⑦ スライドショーを再生
- ⑧ ファイル名

USB フォト再生中に、画面をタッチして操作画面を表示してください。

- ・ 操作をおこなった後で、操作画面は、USB フォトモードのビジュアル画面に 5 秒間切り換わります。

再生

- 1 ㊦ (ホーム) ボタンをタッチして、USB フォトモードを選択します。

USB フォトモード画面が表示されます。

- ・ USB フォトモードを選択するには、ホーム画面で【画像】または【フォトフレーム】ウィジェットをタッチします。

- 2 フォトファイルリストから希望のフォトを選択します。

- ・ 他のフォト (ファイル) を選択するには、[↶] をタッチして前の画面に戻ってください。

スライドショー

スライドショーでは、フォトを 3 秒ごとに変えて表示します。

【Play】をタッチします。

- ・ スライドショーを停止するには、画面をタッチします。

再生のエフェクトを設定する

スライドショーのフォトの切り換え方について再生エフェクトを設定することができます。

【Effect】をタッチして、希望のエフェクトを選択します。

スライドショーの時間間隔を設定する

次のフォトに切り換わる時間間隔を設定することができます。

【Time Interval】をタッチして、希望の時間間隔を選択します。

フォト付き壁紙を設定する

お好みのフォト付き壁紙を設定するには、「ご自身の画像を使って壁紙を設定する」(12 ページ)をご参照ください。

iPhone の iPod モード (オプション)

別売りの Lightning USB ケーブルなどが必要です。

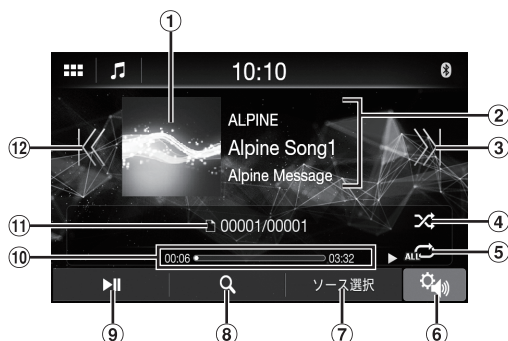
- 本機は、USB コネクタで本機に接続している iPhone からのビデオ再生に対応していません。
- iPhone のインターネット機能や電話機能などは、本機から制御できませんが、iPhone 自体から制御することができます。
- iPhone の iPod モードを操作する前に、「Apple CarPlay」を【Off】(15 ページ) に設定してください。

本機で使える iPhone の機種について

- 以下の機器は、テストを実施した結果、本機と動作することがわかっています。これ以前のバージョンの機能が正しく動くかどうかは保証できません。

iPhone X
iPhone 8
iPhone 8 Plus
iPhone 7
iPhone 7 Plus
iPhone SE
iPhone 6s
iPhone 6s Plus
iPhone 6
iPhone 6 Plus
iPhone 5s

■ iPod メイン画面の例



- ① アートワーク表示
- ② インフォメーション表示※
- ③ アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ④ シャッフルモード
- ⑤ リピートモード
- ⑥ サウンド設定メニュー画面 (17 ページ) を表示
- ⑦ USB メモリーまたは Bluetooth Audio に切り換え
- ⑧ サーチ画面を表示
- ⑨ 一時停止と再生
- ⑩ 経過時間 / 合計再生時間
- ⑪ 現在の曲番号 / 全曲数
- ⑫ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

※ ポッドキャストモード

再生

- 1 𠂔𠂔𠂔 (ホーム) ボタンをタッチして、iPod モードを選択します。

iPod モード画面が表示されます。

- 2 【⏮】 または 【⏭】 をタッチして、希望の曲 (ファイル) を選択します。

現在 (または直前) の曲 (ファイル) の頭に戻る:

【⏮】 をタッチします。

現在の曲を早戻し:

【⏮】 を長押しします。

次の曲 (ファイル) の頭に進む:

【⏭】 をタッチします。

現在の曲を早送り:

【⏭】 を長押しします。

- 3 再生を一時停止するには、【⏸】 をタッチします。

- 本機に接続する前に iPhone で曲を再生している場合は、本機に接続しても再生を続けます。
- ひとつのエピソードには、チャプターが複数ある場合があります。チャプターは、【⏮】 または 【⏭】 をタッチして変更することができます。
- iTunes で作られたアーティスト名、アルバム名、曲名の文字数が極端に多い場合は、本機に接続したときに曲が再生されない場合があります。したがって、最大 64 文字を推奨します。本機に対する最大文字数は 64 です。
- 文字によっては正しく表示できない場合があります。
- ホーム画面で【オーディオ】ウィジェットを選択し、【ソース選択】をタッチし【iPod】を選択します。【iPod】がすでに選択されている場合は、ホーム画面で【オーディオ】ウィジェットを選択することで再生を開始できます。

音楽ファイルをサーチする

iPhone には数千曲を保存することができます。そのため本機は、以下のサーチ機能を使って、様々なサーチをおこなうことができます。

プレイリスト / アーティスト / アルバム / ポッドキャスト / オーディオブック / ジャンル / コンポーザー / 曲 / ラジオといったサーチモードの個々の階層を使って、以下の表に示すようにサーチを絞り込むことができます。

<音楽サーチメニュー>

階層 1	階層 2	階層 3	階層 4
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
コンポーザー	アルバム	曲	—
ポッドキャスト	エピソード	—	—
オーディオブック	—	—	—
ラジオ	—	—	—

例：アーティスト名でサーチ

以下の例を用いて、アーティストサーチの実施方法を説明します。



1 再生中に【Q】（サーチ）をタッチします。

2 【アーティスト】 をタッチします。
アーティストサーチ画面が表示されます。

3 希望のアーティストを選択します。

4 希望のアルバム名をタッチします。
選択したアルバムの全曲が表示されます。

5 希望の曲名をタッチします。
選択した曲が再生されます。

リピート再生

【↺】 をタッチして、リピート再生モードを選択します。

全ファイル ：全ファイルを繰り返し再生します。

ファイル ：現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。

OFF ：リピートモードは無効です。

シャッフル再生

1 【🔀】 をタッチして、シャッフル再生モードを選択します。

曲 ：曲のシャッフルは、選択したカテゴリー（プレイリスト、アルバムなど）内の曲をランダムに再生します。カテゴリー内の曲は、全曲が再生し終わるまでに、1度だけ再生されます。

OFF ：シャッフルモードは無効です。

HDMI (オプション) (DAF11V/DAF9Vのみ)

iPhone やスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機と HDMI 接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます。お使いになる iPhone やスマートフォン・ビデオカメラにより HDMI 接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売の HDMI 接続ケーブルをご用意ください。詳しくはアルパインインフォメーションセンターまたはアルパインのホームページにてご確認ください。

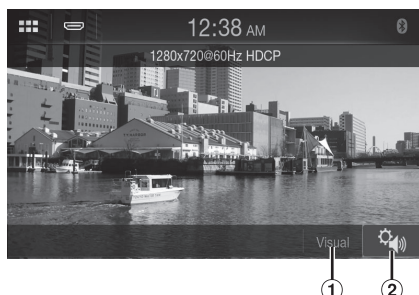
HDMI 操作

■ iPhone やスマートフォンなど

- ・ HDMI 機器の出力は、本機にミラーリングされます。
- ・ 本機からの制御はできません。
- ・ 接続する機器は HDMI 出力インターフェースを備えている必要があります。
- ・ お使いになる HDMI 機器によって、本機で認識できない場合があります。
- ・ アルパイン専用 HDMI 接続ケーブルのみを使用してください。

1 部品 (ホーム) ボタンをタッチして HDMI を選択します。ディスプレイに HDMI モード画面が表示されます。

- ・ 安全のため、運転中はビデオは表示されず、オーディオのみ聞こえます。



- ① 明るさとコントラストを設定
- ② サウンド設定メニュー画面 (17 ページ) を表示

明るさとコントラストを設定する

1 [映像] をタッチします。

2 [+] または [-] をタッチして、明るさとコントラストを設定します。

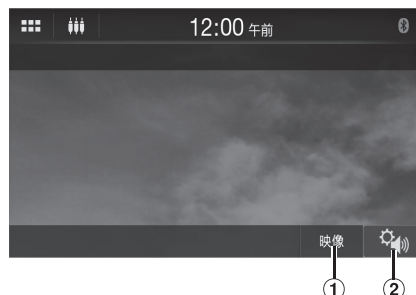
※: 明るさを調整

ⓘ: コントラストを調整

外部機器(AUX)(オプション) (DAF11V/DAF9Vのみ)

外部機器操作

- ・ 安全のため、運転中はビデオは表示されず、オーディオのみ聞こえます。



- ① 明るさとコントラストを設定
- ② サウンド設定メニュー画面 (17 ページ) を表示

明るさとコントラストを設定する

1 [映像] をタッチします。

2 [+] または [-] をタッチして、明るさとコントラストを設定します。

※: 明るさを調整

ⓘ: コントラストを調整

Bluetooth 操作

使用前の設定

Bluetooth について

Bluetooth は、モバイル機器やパソコン間の短い距離の通信を可能にする無線技術です。これにより、Bluetooth 対応機器間でのハンズフリー電話やデータ通信が可能になります。機器間の距離が 10 メートル以内であれば、免許不要 2.4 GHz 帯域における Bluetooth 通信が可能です。詳細は Bluetooth のホームページをご参照ください (<http://www.bluetooth.com/>)。

- Bluetooth のバージョンによっては、Bluetooth 対応機器が、本機と通信できない場合があります。
- すべての Bluetooth 対応機器と本機が正しく機能することは保証できません。Bluetooth 対応機器の取り扱いについては、アルパイン販売店またはアルパインのホームページにてご確認ください。
- 周囲の状況によっては、Bluetooth 無線接続が不安定になる場合があります。
- 電話をかけた後、設定操作をおこなう場合には、必ず車を安全な場所に停止させてください。
- 接続する Bluetooth 対応機器によっては、機能が異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

ハンズフリー電話について

HFP (ハンズフリープロファイル) 対応携帯電話を本機と一緒に使う場合は、ハンズフリーでの電話が可能です。

- 交通渋滞時や狭く曲がりくねった通りでのハンズフリー電話は避けてください。
 - バックグラウンドのノイズを抑えるため、通話中は窓を閉めてください。
 - 通話している両者ともハンズフリー機器を使っていたり、ノイズのある場所で電話をしつたりする場合、他方の声が聞こえにくくなることがあります。
 - 電話回線の状態や使用するモバイル機器によっては、声が不自然に聞こえる場合があります。
 - マイクを使う場合は、最高の音質が得られるように、出来るだけマイクに直接話しかけてください。
 - 携帯電話の機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーのネットワーク設定や能力に依存します。また、機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーによって有効にされない場合があります。そして / または、プロバイダーのネットワーク設定により、機能が制限される場合があります。機能の有効性と機能性については、お使いのサービスプロバイダーに常にご確認ください。
- 機能、機能性、その他の製品仕様、および取扱説明書に記載の情報はすべて、最新の入手可能な情報に基づいており、印刷の時点で正確と考えられているものです。
- アルパイン社は、いかなる情報や仕様についても、通知や義務なく変更または修正する権利を保有します。
- iPhone 5s 以降の機種または Android Auto アプリをインストールした Android スマートフォンを接続した場合、操作画面が本セクションのものと異なる場合がありますのでご注意ください。

Bluetooth を使用する前に

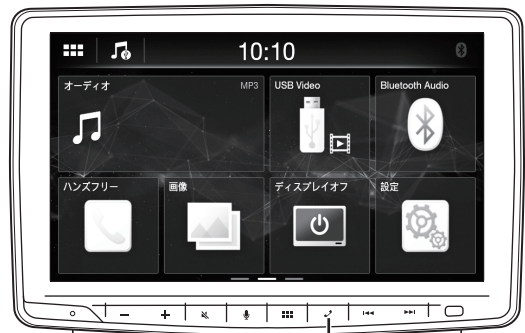
ハンズフリー電話 / オーディオ機能を使用する前に、以下の設定が必要です。

Bluetooth 機器を本機に登録してください。

- 「接続 (Bluetooth) 設定」(14 ページ) をご参照ください。
- Bluetooth 対応機器を使って、本機をサーチすることができます。そして、その Bluetooth 対応機器を本機に接続してください。本機の機器名は「DAF11V」、「DAF9V」、「DAF9」のいずれか、初期パスワードは「0000」です。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

ハンズフリー電話の制御

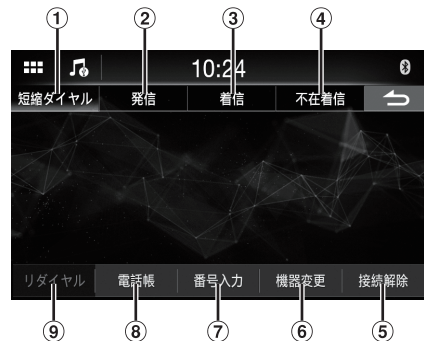
電話ボタンをタッチして、電話メニュー画面を表示します。



電話ボタン

- ホーム画面の【Phone】ウィジェットを選択して、電話メニュー画面を表示することもできます。

電話メニュー画面の例



- 短縮ダイヤル**
お気に入りに設定した電話番号のリストを表示します。
- 発信**
発信した電話番号のリストを表示します。
- 着信**
受信した電話番号のリストを表示します。
- 不在着信**
不在着信した電話番号のリストを表示します。
- 接続解除**
Bluetooth 機器との接続を切ります。接続を切った後で、表示は【再接続】に変わり、接続を切った機器と再接続することができます。
- 機器変更**
Bluetooth 設定画面を表示します。
- 番号入力**
電話番号をタイプするときに使用します。

⑧ 電話帳*

電話帳から電話をかけたり、電話帳を編集したりすることができます。

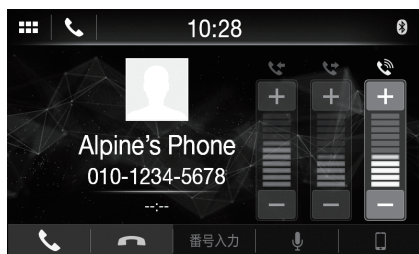
⑨ リダイヤル

最後に電話をかけた番号にダイヤルします。

※ ハンズフリー電話が接続されていない場合は、Bluetooth 設定画面が表示されます。「接続 (Bluetooth) 設定」(14 ページ) をご参照ください。

電話を受ける

1 着信すると、着信音が流れ着信画面になります。



- ・「着信音量 (🔊)」の【+】または【-】をタッチして、着信音量を調整することができます。

2 【📞】をタッチします。

通話を開始します。



- ・通話中は、本機の現在のモードの音声はミュートになります。通話終了後に再生が再開します。
- ・発信者の電話番号がシステムに伝達されると、発信者の名前が電話帳に保存されていた場合に、その名前が表示されます。名前が保存されていない場合は、番号が表示されます。
- ・【📞】(拒否) をタッチすると、着信を拒否します。
- ・【🔊】をタッチすると、マイクをミュートにすることができます。ミュートモードを取り消すには、【🔊】をタッチします。詳細は、「電話操作画面」(33 ページ) をご参照ください。
- ・通話中に別の電話がかかってきたら、Bluetooth 機器で操作してください。

電話を切る

1 【📞】をタッチします (通話終了)。

通話を終了します。

電話をかける

電話メニューを使って電話をかける

最近の通話記録から電話をかける

- 1 電話メニューの【短縮ダイヤル】、【発信】、【着信】または【不在着信】からカテゴリーを選びます。



- 2 電話をかけたい相手の名前が電話番号の【📞】をタッチします。

3 【開始】をタッチします。

通話を開始します。

- ・【短縮ダイヤル】を使うには、「連絡先をお気に入り」に設定する (ショートカットダイヤル)」(34 ページ) をご参照ください。

電話帳から電話をかける

- 1 電話メニューの【電話帳】をタッチします。電話帳画面が表示されます。



- 2 電話をかけたい相手の名前が電話番号の【📞】をタッチします。

通話を開始します。

電話をかける番号を入力する

- 1 電話メニューの【番号入力】をタッチします。番号入力画面 (キーパッド) が表示されます。



入力した番号を削除するには【✕】タッチします。

- 2 電話をかけたい電話番号を入力します。

- ・21 桁まで入力できます。

- 3** **【へ】（発信）** をタッチします。
電話番号の確認メッセージが表示されます。

- 4** **【開始】** をタッチします。
通話を開始します。

プライベート通話

プライベート通話設定を使用すると、会話はスピーカーから出力されません。

通話中に **【□】** をタッチします。

- Bluetooth 機器を変更するには、**【機器変更】** をタッチして、Bluetooth 設定画面を表示します。「接続 (Bluetooth) 設定」(14 ページ) をご参照ください。

音声認識機能を使う

iPhone の Siri 機能を使ったり、スマートフォンの音声操作によって電話をかけたりすることができます。

- Apple CarPlay や Android Auto を使う場合、操作画面が、取扱説明書の画面デザインと異なる場合があります。

Siri を使う

お使いの iPhone の Siri 機能を使うことができます。本機能を使うには、お使いの iPhone の Siri 設定を ON に設定してください。

- iPhone を Bluetooth 経由で本機に接続し、「ハンズフリー」に設定します (15 ページ)。
- 接続した iPhone によって、使える機能は異なります。
- USB ソースのみに適用する音楽ライブラリーから曲を再生するように Siri に依頼してください。
- データを受信可能な対応スマートフォンに接続することで、Siri と他のストリーミングサービスが有効になります。これらの機能を楽しむために、スマートフォンのデータまたは Wi-Fi がスマートフォンで有効になっていることを確認してください。
- Siri や他のストリーミングサービスを多く利用すると、お使いの電話のデータの利用量が増加する場合があります。適切なデータプランに加入しているか電話会社に確認してください。

- 1** **【🎤】 ボタン** をタッチしてください。



音声認識モード画面が表示されます。

- 2** 本機に付属のマイクに話しかけてください。

- 3** 音声制御モードを終了するには、**【キャンセル】** をタッチします。

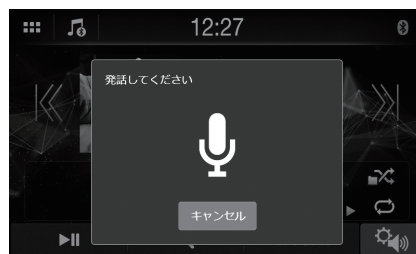
- iPhone によっては、Siri 機能は自動で終了する場合があります。
- 音量を調整するには、「会話音量を調整する」(33 ページ) をご参照ください。

音声ダイヤル機能

音声操作により電話をかけることができます。

- スマートフォンを Bluetooth 経由で本機に接続し、「ハンズフリー」(15 ページ) に設定してください。

- 1** **【🎤】 ボタン** をタッチしてください。



音声ダイヤルモード画面が有効になります。

- 2** 電話したい電話番号*または名前*をマイクに向かって発話します。

※ 電話番号と名前はスマートフォンに保存している音声ダイヤル情報に依存します。

- 3** 音声ダイヤルモードを終了するには、**【キャンセル】** をタッチします。

- この操作は、音声ダイヤルに対応したスマートフォンを接続しているときのみ実施できます。
- 音声ダイヤル機能の性能は、スマートフォンの認識範囲およびマイクの設置場所に依存します。マイクを設置する際に注意してください。
- 音声ダイヤル操作は、スマートフォンで利用できる機能に依存します。詳細は、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。
- スマートフォンによっては、音声ダイヤル操作は自動で終了する場合があります。
- 音量を調整するには、「会話音量を調整する」(33 ページ) をご参照ください。

電話操作画面



① 名前と電話番号

- グループに登録している場合は、グループ名も表示されます。接続した携帯電話によっては表示されない場合があります。

② 通話時間

会話音量を調整する

発信者のレベルとマイクのレベルを調整することができます。

「スピーカー音量 (🔊)」または「マイクレベル (🔊)」の【-】または【+】をタッチします。

11 レベルで音量を調整することができます。

音声出力を変更する

電話の音声出力は、車のスピーカーと携帯電話のスピーカーの間で切り換えが可能です。

【🔊】または【🚗】をタッチします。

- 携帯電話の機種によっては、この操作ができない場合があります。

マイクをミュートする

【🔇】をタッチします。

- ミュートモードを取り消すには、【🔊】をタッチします。

DTMF (タッチトーン) 機能

電話する際に DTMF (タッチトーン) を送信します。

1 【番号入力】をタッチします。

番号入力画面 (キーパッド) が表示されます。

2 数字を入力します。

- 電話をする際に、タッチトーン信号を送信することができます。

電話帳機能

電話帳画面の例



電話帳と同期させる

システムの電話帳と携帯電話の電話帳を同期させることができます。

1 電話帳画面で【同期】をタッチします。
確認画面が表示されます。

2 【はい】をタッチします。
電話帳の同期を開始します。

- 1,000 件の登録名を電話帳に保存することができます。
- 個人名 1 つにつき、電話番号を 5 つまで保存できます。

電話帳の登録を削除する

電話帳から 1 件の登録を削除する

削除したい連絡先（または電話番号）の【血】をタッチします。
選択した番号が削除されます。

電話帳からすべての登録を削除する

- 1 電話帳画面で【全削除】をタッチします。
確認画面が表示されます。
- 2 【はい】をタッチします。
電話帳のすべての登録が削除されます。

連絡先をお気に入りに設定する (ショートカットダイヤル)

電話帳、発信履歴、受信履歴、不在着信リストから、連絡先をお気に入りに設定することができます。

- 1 リストの名前または電話番号をタッチします。
- 2 「ショートダイヤル」の【★】をタッチします。



電話番号がお気に入りに設定されます。

- お気に入りに設定できる連絡先は 5 つまでです。
- 【★】に番号がすでに設定されている場合は、それをタッチすると番号が上書きされます。
- お気に入りリストから連絡先を削除するには、【血】をタッチします。

Bluetooth オーディオ

Bluetooth 対応携帯電話やポータブルプレーヤーなどがワイヤレスで接続されている場合、曲を再生することができます（本機から操作が可能です）。

- Bluetooth 対応機器によって、操作は異なる場合があります。

Bluetooth オーディオメイン画面の例



- ① インフォメーション表示
- ② アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ③ シャッフルモード
- ④ リピートモード
- ⑤ サウンド設定メニュー画面（17 ページ）を表示
- ⑥ USB メモリーまたは iPhone の iPod モードに切り換え
- ⑦ Bluetooth 機器との接続切断
- ⑧ Bluetooth 機器を変更
- ⑨ 一時停止と再生
- ⑩ 経過時間 / 合計再生時間
- ⑪ 現在の曲番号 / 全曲数
- ⑫ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

- 表示されているオンスクリーンボタンは、AVRCP のバージョンによって異なる場合があります。
- 曲タイトル / アーティスト名 / アルバムタイトル / 経過時間は、AVRCP のバージョン 1.0 の場合は表示されません。
- オーディオを再生するには、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) または AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) に準拠した携帯電話やポータブルプレーヤーが必要です。
すべての機器ですべての機能が働くわけではありません。
- 通話中は、Bluetooth 音源の音は一時停止されます。

対応する AVRCP のバージョン: 1.0, 1.3, 1.4, 1.5

- 使用できる機能は、AVRCP のバージョンによって異なる場合があります。

再生

1  (ホーム) ボタンをタッチして、Bluetooth オーディオモードを選択します。
Bluetooth オーディオモード画面が表示されます。

2 **【K】** または **【J】** をタッチして、希望の曲（ファイル）を選択します。

現在のファイルの頭に戻る：

【K】 をタッチします。

現在のファイルを早戻しする：

【K】 を長押しします。

次のファイルの頭に進む：

【J】 をタッチします。

現在のファイルを早送りする：

【J】 を長押しします。

3 再生を一時停止するには、**【▶||】** をタッチします。

- ホーム画面で **【オーディオ】** ウィジェットを選択した際に、**【ソース選択】** をタッチし **【BT】** を選択します。**【BT】** がすでに選択されている場合は、ホーム画面で **【オーディオ】** ウィジェットを選択することで再生を開始できます。

リピート再生

AVRCP のバージョン 1.4 と 1.5 でのみ使用できます。

【↺】 を繰り返しタッチして、リピート再生モードを選択します。

ファイル ：現在再生中の曲のみを繰り返し再生します。

全ファイル ：全曲の再生が一旦終わると、最初の曲から再生を繰り返します。

Off ：リピートモードは無効です。

- 接続する Bluetooth 対応機器によって、操作は異なる場合があります。

シャッフル再生

AVRCP のバージョン 1.4 と 1.5 でのみ使用できます。

【↻】 をタッチして、シャッフル再生モードを選択します。

全ファイル ：Bluetooth 対応機器のすべての曲をランダムな順に再生します。すべての曲が再生されるまで、どの曲も再び再生されることはありません。

Off ：シャッフルモードは無効です。

- 接続する Bluetooth 対応機器によって、操作は異なる場合があります。

Bluetooth 機器を接続する

本機に Bluetooth 機器を登録すると自動接続が可能になります。自動で接続されない場合は、接続手順を再度実行してください。

Bluetooth オーディオ画面で **【再接続】** をタッチします。
Bluetooth 接続を開始します。

Bluetooth の接続を切る

Bluetooth オーディオ画面で **【接続解除】** をタッチします。
Bluetooth 接続を切ります。

接続する Bluetooth 機器を切り換える

複数の Bluetooth 機器が本機に登録されている場合は、登録機器の中で接続を変えることができます。

1 Bluetooth オーディオ画面で **【機器変更】** をタッチします。

2 機器の名前をタッチします。
選択した機器に接続が移行します。

カメラの操作 (オプション)

オプションのカメラを接続すると、カメラの映像をモニターに出力することができます。

バックカメラ：

バックカメラを接続している場合、車両が後退する際に、バックカメラのビュー（ON の場合、車幅と距離のガイド線）が、本機の画面に自動で表示されます。

カメラの画質を調整することができます。
設定項目：明るさ / 色 / コントラスト
「カメラ画質の設定」（16 ページ）をご参照ください。

カメラの操作

ホーム画面からカメラの映像を表示する

- 1 ㊦（ホーム）ボタンをタッチします。
ホーム画面が表示されます。



[Rear Camera] ボタン

- ・ [カメラ選択] を [Off] (15 ページ) に設定している場合は、[リアカメラ] ボタンは選択できません。

2 [リアカメラ] タッチします。

- ・ [↶] をタッチしてメインソース画面または前の画面に戻ります。
- ・ リヤビュー映像のガイド調整をおこなうことができます。詳細は、「バックカメラガイドについて」（36 ページ）をご参照ください。

車のシフトをリバースに入れている間、リヤビュー映像を表示する

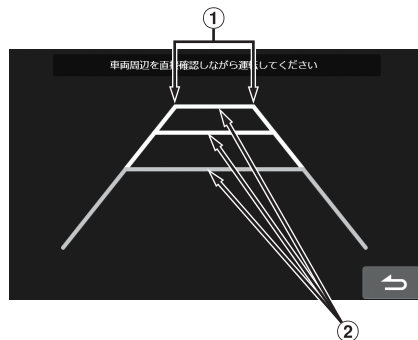
- 1 シフトレバーをリバース（R）位置にします。
車がリバースの間、リヤビュー映像が表示されます。
- 2 シフトレバーをリバース（R）以外の位置にすると、モニターは前の画面に戻ります。
 - ・ バックするときは、カメラだけに決して頼らないでください。常に振り返って目視確認し、カメラは補助としてお使いください。
 - ・ 本機能は、リバース信号線が正しく接続されているときに有効です。
 - ・ [↶] をタッチしてメインソース画面または前の画面に戻ります。
 - ・ リヤビュー映像のガイド調整をおこなうことができます。詳細は、「バックカメラガイドについて」（36 ページ）をご参照ください。

バックカメラガイドについて

ガイドを表示するには、「バックカメラのガイドを On/Off する」（16 ページ）を ON に設定してください。また、ガイドを調整するには、「バックカメラガイド設定」（16 ページ）を参照してください。

■ 表示マークの意味

車両のシフトレバーがリバースに入ると、モニターはバックカメラ映像に切り換わります。車幅とリヤバンパーからの距離の視覚化を補助するガイドが表示されます。



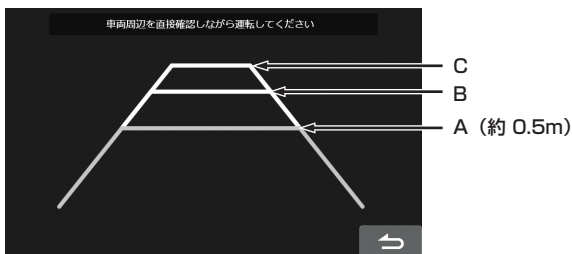
- ① 車幅延長線（距離の順に赤、黄、緑）
車幅を示します。まっすぐバックする際の、車の経路を示します。
 - ・ 車の後部（バンパーの後端）からの距離を表します。
 - ・ ハンドルと連動して動きません。
 - ・ 車幅に合うように設定します。
- ② 距離目安線
車の後部（バンパーの後端）からの距離を表します。
 - ・ ハンドルと連動して動きません。
 - ・ 水平面に駐車時に、実際の距離を測定することをお勧めします。
 - ・ 車や路面の状態により、視界範囲は異なる場合があります。
 - ・ カメラの視界範囲は限定されます。カメラに対し極端な角度（例：バンパーの下やバンパーの両端）に物がある場合は、カメラの視野に入らない可能性があります。
 - ・ バックカメラの映像は、実際の周辺部とは異なる色合いになる場合があります。
 - ・ 車によっては、ガイド線が右または左にずれる場合がありますが、故障ではありません。

■ 距離目安線

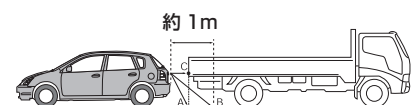
距離目安線は、リヤバンパーから路面までの距離を表します。路面より上にある物までの距離を、正確に判断することはできません。

以下の例では、A までの距離は 0.5m、B までの距離は 1m です。

<画面>



<A、B、C の位置>



画面の距離目安線によると、トラックが 1m 離れたところ (B 位置) に駐車しているように見えます。しかし、実際は A 位置まで後退すると、車はトラックに衝突します。

画面上では、A、B、C の各位置は近い順に配置されているように見えます。しかし実際は、A 位置と C 位置は同じ距離で、B 位置は A と C の位置より遠いところにあります。

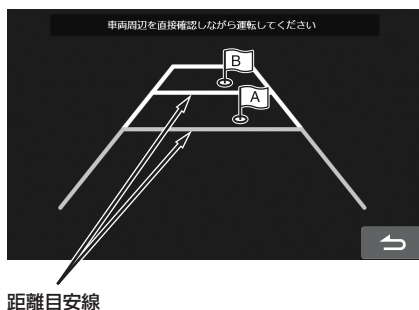
- 車幅延長線は、路面上での距離を表します。道路にある物までの距離は、正確に表されません。

画面と実際の路面での誤差

以下の状況では、画面の目安線と実際の路面の間で誤差が生じます。(イラストは、カメラが標準位置に設置された場合を表しています。)

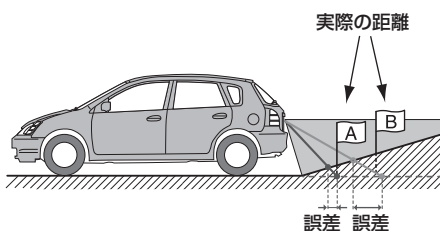
■ 車の後ろに急な上り坂がある場合 (例)

<画面>



距離目安線

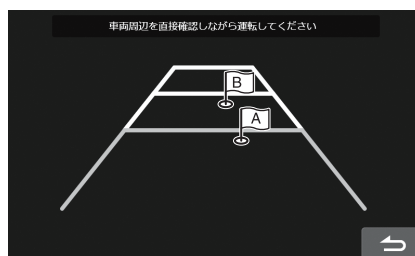
<車の状態>



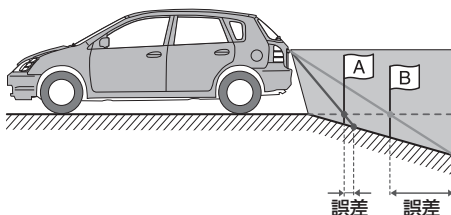
距離目安線は、平坦な路面までの距離を表します。したがって車の後ろに上り坂がある場合、距離目安線は、実際の距離よりもリヤバンパーの近くに表示されます。例えば、上り坂に障害物がある場合、実際の位置よりも遠くに見えます。また、目安線と路面の実際の経路でも誤差が生じます。

■ 車の後ろに急な下り坂がある場合 (例)

<画面>



<車の状態>



車の後ろに下り坂がある場合、距離目安線は、実際の距離よりもリヤバンパーから遠くに表示されます。下り坂に障害物がある場合、実際の位置よりも近くに見えます。また、目安線と路面の実際の経路でも誤差が生じます。

製品のソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要な情報

本製品のソフトウェアライセンスについて

製品にインストールしているソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。

詳細は、本機の「オープンソースライセンス」画面をご参照ください。「保証書 / 著作権情報を表示する」(13 ページ)をご参照ください。

対応フォーマットについて

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV について

⚠ 注意

個人的な使用を除き、有償無償に関わらず、著作権所有者の許可なく、オーディオデータ (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV データを含む) の複製または配布、譲渡、またはコピーをすることは、著作権法および国際協定により厳しく禁止されています。

MP3 とは?

「MPEG Audio Layer 3」を公式名称とする MP3 は、ISO (国際標準化機構) および IEC の共同活動機関である MPEG によって規定された圧縮規格です。

MP3 ファイルは、圧縮されたオーディオデータを含んでいます。MP3 符号化処理は、非常に高い比率でオーディオデータを圧縮することができ、音楽ファイルのサイズを元のサイズの 10 分の 1 にまで減らすことができます。また、CD に近い質を維持しながらそれを実現します。MP3 フォーマットは、人間の耳には聞きとれない、あるいは他の音に隠れる音を取り除くことによって、高い圧縮率を実現します。

WMA とは?

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。WMA は MP3 オーディオデータのようなものです。

AAC とは?

AAC は「Advanced Audio Coding」の省略形で、MPEG2 や MPEG4 で使用する基本的なオーディオ圧縮フォーマットです。

FLAC とは?

FLAC (Free Lossless Audio Codec) は、ロスレス圧縮のためのオーディオファイルコーデックで、オープンソースソフトウェアとして開発、提供されています。MP3 や AAC などの不可逆圧縮形式のコーデックは、圧縮効率を上げるためにデータを部分的に縮小します。しかし FLAC は、不可逆圧縮をおこなうことで元のデータと同一の複製物になるように、圧縮データを再構築できます。FLAC の圧縮率は、約 50% です。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV (USB メモリー) ファイルの作成方法

オーディオデータは、MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV (USB メモリー) のコーデックをもつソフトウェアを使って圧縮されます。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV (USB メモリー) ファイルの作成についての詳細は、そのソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

本機で再生可能な MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV (USB メモリー) ファイルには、以下のファイル拡張子がついています。

MP3 :「mp3」

WMA :「wma」

AAC :「m4a」

FLAC :「flac」/「fla」

WAV :「wav」

WMA は、Windows Media Audio Professional, Windows Media Audio 10 std, Windows Media Audio 10 Pro Lossless などのファイルには対応されません。

AAC フォーマットには多くの異なるバージョンがあります。使用されているソフトウェアが上記の許容できるフォーマットに準拠していることを確認してください。拡張子が正しくてもフォーマットが再生できない場合があります。

iTunes で符号化された AAC ファイルの再生には対応しています。

対応する再生サンプリングレートとビットレート

MP3 (USB メモリー)

サンプリングレート: 8 kHz, 11.025 kHz, 12 kHz,
16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz,
32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz

ビットレート: 8 ~ 320 kbps

WMA (USB メモリー)

サンプリングレート: 8 ~ 48 kHz

ビットレート: 8 ~ 384 kbps

AAC (USB メモリー)

サンプリングレート: 8 ~ 48 kHz

ビットレート: 8 ~ 384 kbps

FLAC (USB メモリー)

サンプリングレート: 8 ~ 48 kHz

ビットレート: 8 ~ 384 kbps

WAV (USB メモリー)

サンプリングレート: 8 ~ 48 kHz

ビットレート: 64 ~ 1,536 kbps

サンプリングレートによっては、本機は正しく再生できない場合があります。

ID3 タグ / WMA タグ

本機は、ID3 タグ v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4 および WMA タグ Ver.1.x に対応しています。タグデータが MP3/WMA/AAC ファイルの中にある場合、本機はタイトル (曲のタイトル)、アーティスト名およびアルバム名の ID3 タグ / WMA タグデータを表示することができます。

対応していない文字は、「?」で表示されます。

タグ情報によっては、文字数が制限されたり、正しく表示されない場合があります。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV を再生する

MP3/WMA/AAC を準備し、USB メモリーに書き込みます。

- 再生可能なファイル / フォルダの最大数
USB メモリー: 10,000 ファイル / フォルダ (ルートフォルダ含む)
- 再生可能なファイルの最大サイズ: 512 MB

ディスクが上記の制限を超える場合、再生されない場合があります。ファイル / フォルダ名が長い場合、再生可能なファイルの最大数が少なくなる場合があります。

- オーディオおよびビデオファイルフォーマットが本機で再生可能な場合、両方のファイルがカウントされます。

対応するメディア

本機で再生可能なメディアは、USB メモリーです。

対応するファイルシステム

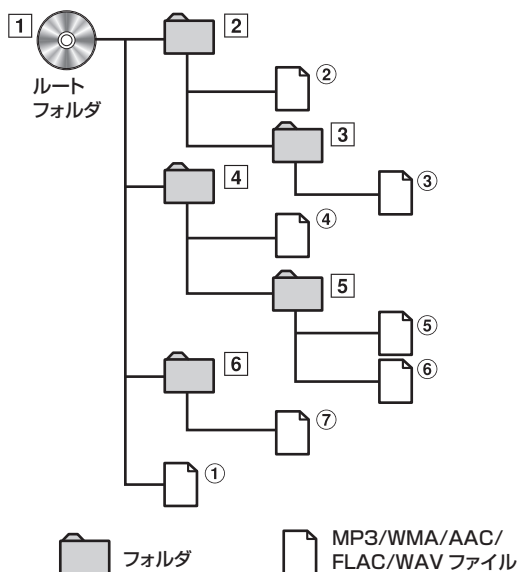
本機は、FAT 16/32 に対応しています。

フォルダの階層は最大 8 個です(ルートディレクトリを含む)。ファイル名は 256 文字までに制限されます(拡張子を含む)。

フォルダ / ファイル名に有効な文字は、A ~ Z (すべて大文字) のアルファベット、0 ~ 9 の数字、および「_」(アンダーバー) です。

ファイルの順

ファイルは、書き込みソフトウェアがディスクに書き込む順に再生されます。したがって、再生順は、期待する順ではない可能性があります。ソフトウェアの付随資料で、書き込む順を確認してください。フォルダとファイルの再生順は以下の通りです。(以下の番号は、実際に表示される番号とは異なる場合があります。)



用語

ビットレート

符号化に指定される「音」の圧縮率です。ビットレートが高くなるほど、音質は向上しますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

1 秒あたりのデータのサンプリング(記録)回数を示します。例えば、音楽 CD は 44.1 kHz のサンプリングレートを使用するので、1 秒あたりに音が 44,100 回サンプリング(記録)されるということです。サンプリングレートが高くなるほど、音質は向上しますが、データ量も大きくなります。

符号化

音楽 CD、WAVE (AIFF) ファイル、その他の音楽ファイルを指定されたオーディオ圧縮フォーマットに変換します。

タグ

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV (USB メモリー) ファイルに書き込まれた曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの情報です。

ルートフォルダ

ルートフォルダ(またはルートディレクトリ)は、ファイルシステムの頂点にあります。ルートフォルダは、すべてのフォルダとファイルを含んでいます。焼いたディスクすべてに自動で作られます。

トラブルシューティング

問題が見つかったときは、電源を切り、再び電源を入れてください。それでも本機が正常に機能しない場合は、以下のチェックリスト項目を確認してください。本機に不具合がある場合、本ガイドがその問題を特定するのに役立ちます。または、システムの他の部分が適切に接続されていることを確認し、正規のアルパインインフォメーションセンターにご相談ください。

全般

機能しない、表示されない

- 車両のイグニッションが OFF になっている。
 - 指示にしたがって接続した場合、車両のイグニッションが OFF の状態では本機は動作しません。
- 電源コードの接続が不適切である。
 - 電源コードの接続を確認してください。
- ヒューズが切れる。
 - 本機のバッテリー線のヒューズを確認し、必要に応じて適切な数値のものに取り換えてください。
- 妨害ノイズなどにより、内部のマイコンが故障した。
 - ボールペンや他の尖ったものでリセットスイッチを押してください。

音がでない、音が不自然

- 音量 / バランス / フェーダーの設定が不適切である。
 - 設定を再調整してください。
- 接続が不適切、またはしっかりとされていない。
 - 接続を確認し、しっかりと接続してください。

画面が表示されない

- 明るさ / コントラストの設定が最小値に設定されている。
 - 明るさ / コントラストの設定を調整してください。
- 車両の温度が低すぎる。
 - 車内の温度を操作温度の範囲に上げてください。
- 補助装置への接続がしっかりとされていない。
 - 接続を確認し、しっかりと接続してください。
- パーキングブレーキ信号線が接続されていない。
- パーキングブレーキがかかっていない。
 - パーキングブレーキ信号線を接続し、パーキングブレーキをかけてください。

表示された画像の動きが正常でない

- 車内の温度が高すぎる。
 - 車内の温度を冷やしてください。

ラジオ

放送を受信できない

- アンテナがない、アンテナケーブルが接続されていない。
 - アンテナが適切に接続されていることを確認し、必要であればアンテナまたはケーブルを取り換えてください。

シークモードで放送局に合わせることができない

- 信号の弱いエリアにいる。
 - チューナーが DX モードになっていることを確認してください。
- 現在地がプライマリー信号エリアの場合、アンテナが接地されておらず、適切に接続されていない可能性がある。
 - アンテナ接続を確認し、アンテナが取り付け場所に適切に接地されていることを確認してください。
- アンテナの長さが適切でない可能性がある。
 - アンテナを完全に延ばしているかを確認し、損傷している場合は新しいアンテナと取り換えてください。

放送にノイズが入る

- アンテナの長さが適切でない。
 - アンテナを完全に延ばし、損傷している場合は取り換えてください。
- アンテナが正しく接地されていない。
 - アンテナが取り付け場所に適切に接地されていることを確認してください。
- 放送信号が弱くノイズが入る。
 - 上記の方法で解決できない場合は、別の放送局に合わせてください。

USB オーディオ

本機が動作しない

- 結露がある。
 - 結露が乾くまで、しばらく（1 時間程度）待ってください。

画像が不鮮明でノイズが入る

- 車両のバッテリーパワーが弱い。
 - バッテリーパワーと配線を確認してください。（負荷をかけた状態で、バッテリーパワーが 11 ボルトを下回る場合は、本機が故障する場合があります。）

こんなメッセージが表示されたら

操作中は、様々なメッセージが画面に表示されます。現在の状況を知らせたり、次の操作をガイドするメッセージの他に、以下のエラーメッセージもあります。これらのエラーメッセージが表示された場合は、解決方法の欄の指示にしたがってください。

システム

安全のため操作できません。

- ・車両の走行中に、設定操作などをおこなった。
 - 車両を安全な場所に移動し、停止させ、パーキングブレーキをかけます。その後、この操作をおこなってください。
-

サポート対象外の USB 機器が接続されました。

- ・ハブ付きの USB メモリーを接続している。
 - ハブ付きの USB メモリーから再生することはできません。USB ハブの接続には対応していません。
-

オーディオ / ビジュアル

サポート対象外の USB 機器が接続されました。

- ・本機が対応していない iPhone が接続されている。
 - 本機が対応している iPhone を接続してください。
 - ・本機が対応していない USB 機器が接続されている。
 - 別の USB メモリーを接続してください。
 - ・通信エラーになる。
 - イグニッションキーを OFF にし、再度 ON にしてください。
 - iPhone のケーブルを使って、iPhone と本機を再接続し、表示を確認してください。
 - USB メモリーと本機を再接続し、表示を確認してください。
 - ・iPod/iPhone のソフトウェアバージョンが本機に対応していないことが原因。
 - iPhone のソフトウェアバージョンが本機に対応するようアップデートしてください。
 - ・iPhone が確認されない。
 - 別の iPhone に変更してください。
-

No Song (曲がない)

- ・iPhone にデータがない。
 - iPhone にデータをダウンロードし、本機に接続してください。
-

No File (ファイルがない)

- ・USB メモリーにデータがない。
 - USB メモリーにデータをダウンロードし、本機に接続してください。
-

サポート対象外のファイルです。

- ・コピープロテクトのかかった WMA ファイルが検出された。
 - コピープロテクトのかかっていないファイルのみを再生することができます。
 - ・本機が対応していないサンプリングレート / ビットレートを使用している。
 - 本機が対応しているサンプリングレート / ビットレートを使用してください。
-

Bluetooth

No Bluetooth (Bluetooth がない)

- ・Bluetooth オーディオ機器が正しく接続されなかった。
 - 本機と Bluetooth オーディオ機器設定を確認し、再接続してください。
-

仕様

モニター部

画面サイズ	11 インチ (DAF11V) 9 インチ (DAF9V/DAF9)
LCD の種類	透明タイプ TN LCD
オペレーションシステム	TFT アクティブマトリックス方式
画素数	1,152,000 (800 × 480 × 3 (RGB))
有効画素数	99% 以上
光源システム	LED

FM チューナー部

同調範囲	76.0 ~ 95.0 MHz
モノラル実用感度	9.3 dBf (0.8 μ V/75 ohms)
オルタナイトチャンネル選択度	80 dB
S/N 比	65 dB
ステレオセパレーション	35 dB
キャプチャ比	2.0 dB

AM チューナー部

同調範囲	522 ~ 1,629 kHz
実用感度	25.1 μ V/28 dBf

USB 部

USB 要件	USB 2.0
最大消費電力	1,500 mA (CDP 対応)
USB クラス	USB (デバイスから再生) / USB (マストストレージクラス)
ファイルシステム	FAT16/32
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性 ^{※1}	5 ~ 20,000 Hz ($\pm$ 1 dB)
全高調波歪み	0.008% (1 kHz 時)
ダイナミックレンジ	95 dB (1 kHz 時)
S/N 比	100 dB
チャンネルセパレーション	85 dB (1 kHz 時)
※ 1 周波数特性は、エンコーダソフトウェア / ビットレートにより異なる場合があります。	

HDMI 部

入力フォーマット	720p/480p/VGA
出力フォーマット	1080p/720p/480p

Bluetooth 部

Bluetooth 仕様	Bluetooth V4.1
出力電力	+4 dBm Ave. (電力クラス 2)
プロファイル	HFP (ハンズフリープロファイル) PBAP (電話帳アクセスプロファイル) A2DP (進化した音楽配信プロファイル) AVRCP (オーディオ / ビデオ リモート制御プロファイル)

一般

電源電圧	14.4 V DC (11 ~ 16 V 許容)
動作温度	-20° C ~ + 60° C
出力	45 W × 4
重量	3.0kg (DAF11V) 2.4kg (DAF9V/DAF9)
音声出力レベル	Preout (前、後): 4V/10k ohms (最大) Preout (サブウーファー): 4V/10k ohms (最大)

本体のサイズ

幅	178 mm
高さ	50 mm
奥行き	160 mm

- ・ 製品改良のため、仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- ・ LCD パネルは、非常に精度の高い製造技術で作られています。有効画素数は 99.99%を超えますが、0.01%の画素が、常時 ON か OFF となる可能性があります。

